

昭和61年度

業 務 実 績

昭和62年9月

国際協力事業団  
東京国際研修センター

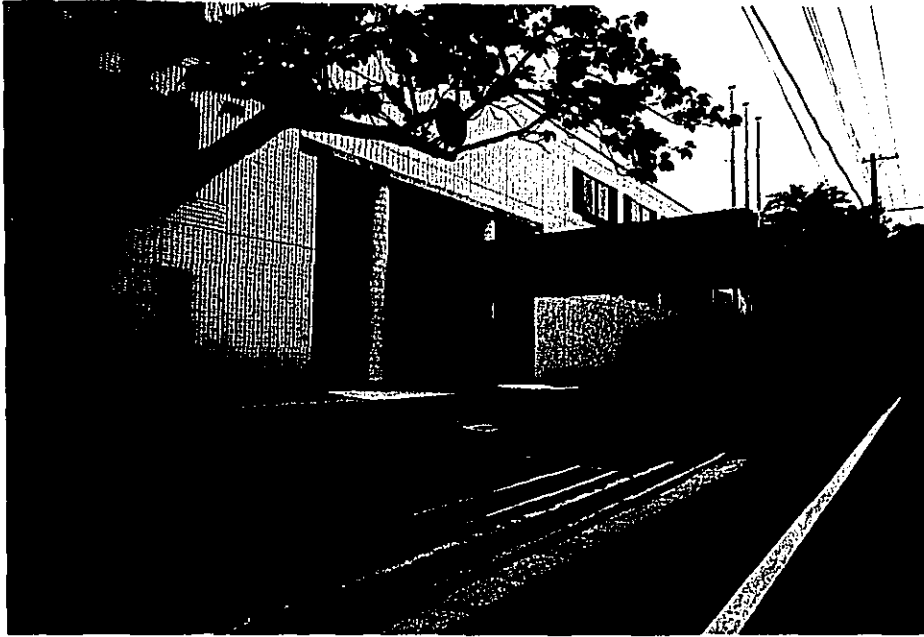
JICA LIBRARY



1040995[1]

国際協力事業団

発行 月日	88. 2. 3	000
登録No.	17104	36
		TIH



管 理 棟



宿 泊 棟

## はじめに

本研修センターは、60年6月に開所式が行われ7月に研修員が入所したので60年度は途中から活動を開始したことになり、従って1年間を通しての実績は61年度が最初となります。

当センターは、現在10カ所ある研修センターの中で最も新しく、かつ、大きいわけですが、事業団業務が年々拡大する中で研修員の受入れも増加しつつあり、それに伴って宿泊者が多くなり、61年度の宿泊は90%近くに昇り今後共益々増加することが予想されます。

それだけに61年度においては60年度の実績を踏え、更に充実させるよう各種施設の提供、ブリーフィング、オリエンテーション、日本語研修や研修員が滞在中快適に過せるように健康管理や各種レクリエーション等を実施してまいりました。

こゝに「昭和61年度業務実績」としてこれらの実績をとりまとめましたので御一読頂き今後共一層の御指導、御協力をお願い申し上げます。

昭和62年9月

東京国際研修センター

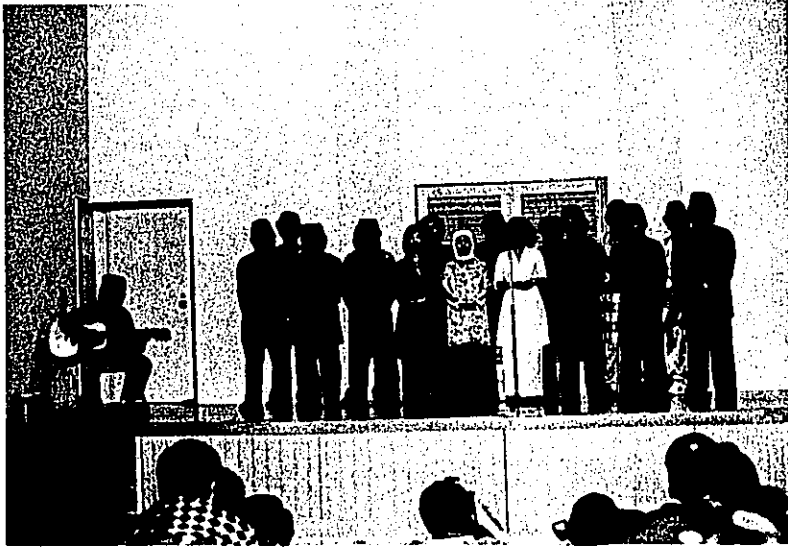
所長 加藤 清



日本語スピーチ大会  
62年3月7日



エスニック料理講習会  
62年2月28日



研修員の夕べ  
61年11月28日



東京ディズニーランド・ツアー  
61年12月20日

## 目 次

1. 東京国際研修センター設立経緯及び役割	1
2. 施設の概要	1
○所在地 ○建物規模 ○主要施設	
3. 組織	3
4. 昭和61年度業務実績	4
(1) 宿泊及び施設の管理	4
(イ) 宿泊施設の利用	4
〈資料〉 月別利用実績表	4
センターを主たる宿泊施設とした集団（特設）	
コース一覧表	5
地域別、国別新規入館者一覧表	6
(ロ) 教室の利用	7
(ハ) 建物等の管理委託	9
(2) 主たる催し	9
(イ) 特殊法人監事等連絡会第三部会（事業団監事連絡会）	
61年度第一回総会	9
(ロ) 第一回帰国研修員同窓会代表者セミナー	9
(3) 主たる便宜供与	10
(4) ブリーフィング	11
(5) オリエンテーション	13
(6) 健康管理	27
(7) 日本語研修	33
(8) 日本語教材開発	51
(9) レクリエーション	54
(イ) スポーツ	54
(ロ) 文化	57
(ハ) 娯楽	59



(ニ) 懇親会, 交流会	63
(ホ) ライブラリー	64
(ヘ) TICインフォメーションリーフの発行	64
(ト) 外部団体の招待等	64
(10) 昭和61年度収支予算実績	66

## 1. 東京国際研修センター設立及び役割

東京国際研修センターは昭和60年4月に国際協力事業団が全国に設置している10番目の国際研修センターとして設立された。同年6月安倍外務大臣列席のもとで開所式を開催、同年7月13日に研修員が入館した。

最新の設備と最大の規模をもつ本センターは毎年100カ国以上5,000人に近い研修員のブリーフィング、オリエンテーション、日本語研修、技術研修を実施するための研修施設として、またリクリエーション業務等を行なう娯楽施設としてまたこれらの研修員が快適な生活をおくる宿泊施設として研修員受入事業の実施のための拠点となり、開発途上国の人材養成とわが国への理解を得るという使命を担い国際協力の重責をはたしていこうとするものである。

## 2. 施設の概要

### ○所在地

住 所 〒151 東京都渋谷区西原2丁目49-5  
電 話 (03) 485-7051  
F A X (03) 485-7904

### ○建物規模

構 造 本館 鉄筋コンクリート造4階建  
(管理・研修棟) (5,766 m<sup>2</sup>)  
宿泊棟 鉄骨鉄筋コンクリート造10階建  
(12,490 m<sup>2</sup>)  
講堂 鉄筋コンクリート造  
(554 m<sup>2</sup>)  
敷地面積 10,013 m<sup>2</sup>  
建築面積 4,027 m<sup>2</sup>  
延床面積 18,868 m<sup>2</sup>  
屋内駐車場 (58 m<sup>2</sup>)

○主要施設

〔本館〕 (管理・研修棟)

- 1階 ラウンジ，食堂，喫茶コーナー，オーディオルーム（2室），  
ビデオルーム（2室），売店
- 2階 フロント，ロビー，ブリーフィングルーム，研修監理員控室，  
日本語講師控室，日本語教材開発室，会議室（2室）
- 3階 所長室，事務室，応接室（2室），講師控室，図書資料室，  
セミナールーム（1～7）（16）
- 4階オリエンテーションルーム，セミナールーム（8～15）（17～18）

〔講堂〕

- 1階 映写施設付設

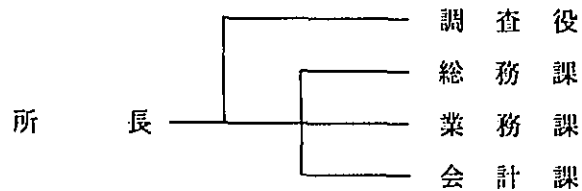
〔宿泊棟〕

- 1～10階 宿泊室（441室，461人収容）  
全室バス・トイレ・電話付（内線）  
各階に洗濯室  
シングル 421室（15.9㎡／1室）  
ツイン 20室（31.3㎡／1室）
- 3，5階 タイプ室（3室）
- 4階 診療室

〔庭園〕

### 3. 組 織

#### 1. 組 織 図



#### 2. 事 務 分 掌

- |       |   |
|-------|---|
| 〔総務課〕 | 宿泊計画・管理<br>施設の管理・運営<br>庶務                                       |
| 〔業務課〕 | 研修員に対するブリーフィング，オリエンテーション<br>および日本語研修の実施<br>研修員の生活上の相談・指導および福利厚生 |
| 〔会計課〕 | 収支予算，決算<br>現金等の出納   |

※ オリエンテーション，日本語研修および建物等の管理を実施するため，下記の外部組織がセンター内に設置されている。

- 社団法人 国際交流サービス協会オリエンテーション準備室
- 財団法人 国際協力サービスセンター日本語研修室
- TBSビル管理会社 東京国際研修センター事業所

#### 4. 昭和61年度業務実績

##### (1) 宿泊及び施設の管理

##### (イ) 宿泊施設の利用

昭和61年度は昭和60年度が研修員の入館が7月13日からであるため一年間を通じる初年度であった。在館利用率の当初計画 80.7% (129,865人) であったが実績は 87.0% (140,092人日) と大幅に上まわった。

月別利用実績表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延利用 人日	8,442	11,000	12,401	13,295	12,404	12,481	13,320	12,521	9,604
利用率 (%)	63.8	80.5	93.7	97.2	90.7	94.3	97.4	94.6	70.2
1月	2月	3月	計						
10,949	11,860	11,815	140,092						
80.0	96.0	86.4	87.0						

センターを主たる宿泊施設とした集団（特設）コース一覧表（昭和61年度）

No	コース名	No	コース名
1	家族計画医学保健セミナー	47	気象学
2	デジタル交換技術（基礎）	48	下水道技術
3	農業普及	49	雇傭行政セミナー
4	リモートセンシング	50	経済開発セミナー
5	地方行政	51	海運経営実務
6	国際通信業務	52	一般統計
7	衛星通信技術（普通）	53	労働安全衛生行政セミナー
8	港湾工学	54	罂 麻薬犯罪取締セミナー
9	水路測量	55	専門看護
10	デジタル有線伝送技術	56	鉄道道電化
11	罂 貿易振興セミナー（C）	57	開発エコノミスト（一般）
12	国家行政（一般）	58	婦人関係行政セミナー
13	水力発電	59	総合都市交通施設計画
14	火力発電	60	通信網計画設計
15	建設機械整備	61	国土開発セミナー
16	上水道施設	62	省エネルギー
17	都市交通セミナー	63	土質及び基礎工学
18	中国経営管理セミナー	64	救難防災
19	消防行政	65	住宅建設
20	廃棄物処理	66	罂 郵便貯金幹部セミナー
21	生活改善普及	67	リモートセンシング技術
22	建築技術	68	データ通信技術
23	通信線路技術	69	海洋物理調査
24	看護管理	70	罂 国際捜査セミナー
25	A D P（自動データ処理）	71	早期胃ガン診断
26	家族計画組織活動セミナー	72	認証検査制度
27	工業標準化	73	原子力発電
28	農地水資源開発	74	国際データ通信技術
29	マイクロ波通信技術	75	国際電話通信技術
30	鉄道車両	76	コンテナ埠頭整備計画
31	農林統計	77	行政情報システム
32	ラジオ放送技術	78	鉄道信号
33	デジタル交換技術（上級）	79	小児専門医療
34	教育テレビジョン番組（Ⅰ）	80	貿易振興セミナー（A）
35	都市計画	81	テレビジョン放送技術（Ⅱ）
36	シンガポール生産性向上	82	寄生虫予防指導者セミナー
37	インダストリアル・デザイン	83	環境行政
38	橋梁工学	84	教育テレビジョン番組（Ⅱ）
39	がん対策	85	原子力基礎実験
40	アイソトープ放射線の医学・ 生物学的利用	86	自動車技術行政
41	腎不全対策	87	罂 石油化学工業
42	森林造成技術者	88	空港管理保安
43	航路標識	89	包装技術
44	無線通信技術	90	研究開発技術
45	糶 処理精米加工	91	都市整備
46	糶 精神薄弱福祉	92	罂 郵政幹部セミナー
		93	罂 放送幹部セミナー

地域別国別新規入館一覧表

印		株		日		一		般		一			
(アジア地域)		(中近東地域)		(アフリカ地域)		(中南米地域)		(オセアニア地域)		(その他の地域)		(全地域)	
国名	人数	国名	人数	国名	人数	国名	人数	国名	人数	国名	人数	国名	人数
バングラデシュ	45	アルジェリア	5	ベナン		アルゼンチン	57	フィジー	31	サイプラス		日本	283
ブータン	2	バハレーン	1	ボツワナ	1	バハマ	1	ナウル		ギリシヤ	2		
ビルマ	116	エジプト	127	ブルンディ	2	バルバドス		ニウエ		ポルトガル			
中国	339	イラン	20	カメルーン	5	ボリヴィア	39	ハワイ	34	ユーゴスラヴィア	22		
インド	73	イラク	54	カーボ・ヴェルデ	3	ブラジル	199	トンガ	5				
インドネシア	317	ヨルダン	35	中央アフリカ	5	チリ	43	西サモア	3				
大韓民国	193	クウェイト	7	チャード		コロンビア	48	キリバス	1				
マレーシア	201	レバノン		コモロ	5	コスタ・リカ	10	トウバル	3				
モルディヴ	7	リビア		コンゴ		キューバ	5	ソロモン諸島	11				
モンゴル	7	モロッコ	9	ジブティ		ドミニカ		米領太平洋諸島					
ネパール	76	オマーン	5	赤道ギニア		ドミニカ共和国	18	ミクロネシア	11				
パキスタン	94	カタール	4	エチオピア	20	エクアドル	9	ヴァヌアツ					
フィリピン	249	サウディ・アラビア	29	ガボン		エルサルバドル	3	マリアナ諸島					
シンガポール	121	スーダン	29	ガンビア	6	グレナダ	1	マーシャル					
スリ・ランカ	110	シリア	7	ガーナ	42	グアテマラ	11	パラオ	1				
タイ	376	チュニジア	18	ギニヤ	7	ガイアナ	3	クック諸島	4				
ヴェトナム	9	トルコ	60	ギニア・ビサウ	1	ハイティ	3						
ブルネイ	4	イエメン	9	象牙海岸	6	ホンデウラス	15						
香港	31	南イエメン	1	ケニア	85	ジャマイカ	7						
		アラブ首長国連邦	3	レソト	4	メキシコ	116						
				リベリア	11	ニカラグア	5						
				マダガスカル	1	パナマ	32						
				マラウイ	11	パラグアイ	70						
				マリ	4	ペルー	105						
				モリタニア		プエルトリコ							
				モリシヤス	4	スリナム	3						
				モザンビーク		セント・ルシア	1						
				ニジュール	1	セント・ヴィンセント							
				ナイジェリア	25	トリニダード・トバゴ							
				ルワンダ	7	ウルグァイ	17						
				セネガル	12	ヴェネズエラ	11						
				セイシエル	3	ペリーゼ	1						
				シェラ・レオネ	10								
				ソマリア	13								
				スワジランド	4								
				タンザニア	67								
				トーゴ	3								
				ウガンダ	5								
				ブルキナ・ファソ									
				ザイール	8								
				ザンビア	14								
				ジンバブエ	4								
				南アフリカ	1								
				ベニン	1								
合計	2370	合計	423	合計	401	合計	633	合計	104	合計	24	合計	283

(ロ) 教室の利用

教室の利用は主として日本語研修および技術研修に分かれ、原則として日本語研修用8技術研修用として10の教室を夫々割りふっている。研修員受入のピーク時の9月から11月にかけては技術研修の一部のものはセンター教室の利用が困難となった。しかし上記期間を除いてはおおむね計画通り利用され、整備された教室と充実された視聴覚機器の効果的な利用をもって研修内容の向上に大きく貢献することとなった。

月別利用実績表

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用可能数		357	357	357	391	357	340	374	306	340	323	323	374	4,199
延利用室数	セミナー等	33	63	68	112	121	148	204	141	55	103	110	92	1,250
実 績	日本語	210	150	163	180	163	145	83	88	128	78	111	190	1,689
	計	243	213	231	292	284	293	287	229	183	181	221	282	2,939
利用率(%)		68.1	59.7	64.7	74.7	79.6	86.2	76.7	74.8	53.8	56.0	68.4	75.4	70.0

- 備考 1. 教室数は18室  
2. 日本語(夜間)は実績に含めず。  
3. 月別の延利用可能室数の算出は次による。  
18室入当該月の日数(土,日,祭日は除く。)



ＴＩＣにおいてセミナーを実施（一週間以上）した研修コース一覧表

No	コース名	No	コース名
1	海水淡水化	32	郵便貯金幹部
2	リモートセンシング	33	国土開発セミナー
3	港湾工学	34	橋梁工学
4	国家行政	35	船員教育行政
5	貿易振興センター	36	港湾セミナー
6	建設機械整備	37	鉄道電化
7	廃棄物処理	38	総合都市交通網
8	都市交通センター	39	国家行政セミナー
9	建築技術コース	40	婦人行政セミナー
10	消防行政コース	41	土質及び基礎工学
11	中国経営管理コース	42	省エネルギー
12	看護管理コース	43	観光振興セミナー
13	工業標準化	44	国土開発セミナー
14	鉄道車輛コース	45	国際捜査セミナー
15	都市計画コース	46	住宅建設
16	電波整理	47	精神薄弱福祉
17	シンガポール生産性訓練	48	早期胃がん診断
18	橋梁工学	49	認証検査制度
19	空港セミナー	50	コンテナ埠頭整備
20	農林統計	51	行政情報システム
21	航路標識	52	鉄道信号
22	森林造成技術	53	環境行政
23	下水道技術	54	石油化学工業
24	雇用行政センター	55	空港管理保安セミナー
25	海運経営実務	56	マレーシア人事管理
26	麻薬セミナー	57	港湾荷役技術コース
27	労働安全衛生行政	58	都市整備コース
28	ハイウエーセミナー	59	郵政幹部センター
29	同窓会会長招聘	60	イラクコンタリートプレハブハウジング
30	船員教育行政		
31	鉄道電化		

(ハ) 建物等の管理委託

フロント，電話交換，電気機械設備，守衛，清掃および食堂各部門の管理，運営業務については外部の専門ビル管理会社に委託し，センター職員の指導のもと研修員のより良い生活環境の維持と安全を心かけた結果円滑に遂行された。

特に食堂部門は常時70カ国以上400人内外の研修員が在館することを念頭におき品種も多く品質にも留意し問題なく運営された。

部門別委託一覧表

部門	契約人数	配置		備考
		昼間	宿直	
統括	2	2		総括主任(1)
フロント	18	10	3	主任(1)，副主任(1)
電話交換	3	3		8：00～21：00 シフト制 日・祭日はフロントにおいて実施
電機	8	5	2	電気主任(1)，機械主任(1)
守衛	12	6	4	守衛長(1)，副守衛長(1)
清掃	契約人数なし	(40余名)		主任(1)，副主任(1) 8：00～17：00 シフト制
食堂	同上	(30余名)		主任(1)，料理長(1)，ホール主任(1) 6：00～21：00 シフト制

(2) 主たる催し

イ 特殊法人監事等連絡会第三部会（事業団監事連絡会）61年度第一回総会  
上記総会が7月25日開催され16の事業団が参加した。

ロ 第一回帰国研修員同窓会代表者セミナー

上記セミナーが10月13日から22日までの10日間に亘り開催され，26同窓会の内10カ国（アルゼンチン，ブラジル〔サンパウロ〕インドネシア，ケニア，バブアニューギニア，パラグアイ，ペルー，フィリピン，シンガポール，スリランカ）の代表者が参加した。

## (3) 主たる便宜供与

年月日	業務	来館者
60. 4.16	視察	在日ガーナ国大使婦人
5.28	〃	Machel モザンビーク国大統領一行14名
6.13	〃	ニカラグア国 Rodrigues 国立自治大学学長
8.19	国際理解 研修会	群馬県高崎ユネスコ協会小中児童60名
8.22	〃	群馬県安中、碓氷ユネスコ協会小中児童 110 名
8.19	視察	Zambrano パナマ運河代替調査委員会パナマ側首席代表 (高級研修員)
9. 4	懇談	海外経済協力基金役職員との懇談
9. 9	視察	フィリピン国 Aquino 人間居住者大臣代行(高級研修員, Aquino 大統領のおじ)
10. 6	〃	帯広市総合計画策定審議会 6 名
10.15	〃	海外事務所現地補助員 (スリランカ, ネパール, マレーシア, エジプト)
9.16	〃	南西アジア, アフリカ地域記者 (バングラデシュ, インド2名, ネパール, パキスタン, スリランカ, ガーナ, ナイジェリア, ジ ンバブエ)
10.22	〃	日本国東アジア, 太平洋州大使17カ国
11.18	〃	Bedregal ボリビア国外務大臣一行7名
11.25	〃	報道関係者29名
62. 1. 7	国際理解	栃木県佐野ユネスコ協会小中学生60名
1.19	視察	Simons ルモンド新聞記者
2.12	〃	倉成外務大臣
3. 5	〃	ラジオ, TV等放送関係者8名
3.11	〃	インドネシア国第三国研修運営 Husen (準高級研修員)
3.11	〃	スリランカ国 Ananda マハヴニリ開発省次官補
3.25	〃	エジプト若手外交官一行15名
3.25	国際理解	群馬県大間々ユネスコ協会婦人会

#### (4) ブリーフィング

年間 5,000 名にのぼる研修員の多くは、初めての訪日であり、この点を考慮して、これらの研修員に対して研修プログラムの開始前に研修上、および日常生活上必要な基礎的な知識を与えるため、次のプログラムにより、(財)国際協力サービスセンターの協力を得てブリーフィング業務を行った。



ブリーフィング実施時間および順序 (平日)

No	時間帯	内 容	形 式	所要時間	備 考
1	10:00~	登録手続き	ブリーフィング担当者が指導	15分	①
2	10:15~	「Guide to JICA」	オート・スライド 上映	25分	
3	10:40~	「Guide to TIC」	オート・スライド 上映	25分	
4	11:05~	質疑応答	2. 3の補足説明	20分	②③
昼 食					
5	13:30~	あいさつ	TIC所長	10分	
6	13:40~	「What to do, in case of Earthquake」	ビデオ上映	25分	
7	14:05~	日本生活案内	オート・スライド 上映	25分	
8	14:30~	キャッシュ・カードの使用法と諸手続の説明	ブリーフィング担当者による口頭説明	30分	④
9	15:00~	質疑応答	6. 7. 8の補足説明	20分	⑥⑦⑧
10	15:35~	キャッシュ・カードによる滞在費等の引出し	ブリーフィング担当者が銀行にて指導	30分	⑩

- ※ ① Form of Register の配布, 記入指導及び回収  
 ② 旅券有効期限の確認  
 ③ 査証有効期限の確認  
 ④ 医療カードの配布, 及び使用方法の説明  
 ⑤ 受入諸費関連諸手当の内容及び使用上の注意説明  
 ⑥ 航空券の預り及び航空代理店への引渡し  
 ⑦ 「KENSHU-IN HAND BOOK」「Training in Japan」「地図」「simple conversation in Japanese」「研修員バッジ」の配布  
 ⑧ 事業団, 受入先, 宿泊先, 在日大使館等の住所, 電話番号, 担当者氏名の伝達  
 ⑨ その他研修期間に係る各種注意事項の伝達  
 ⑩ クイックカードの配布及び使用方法の説明

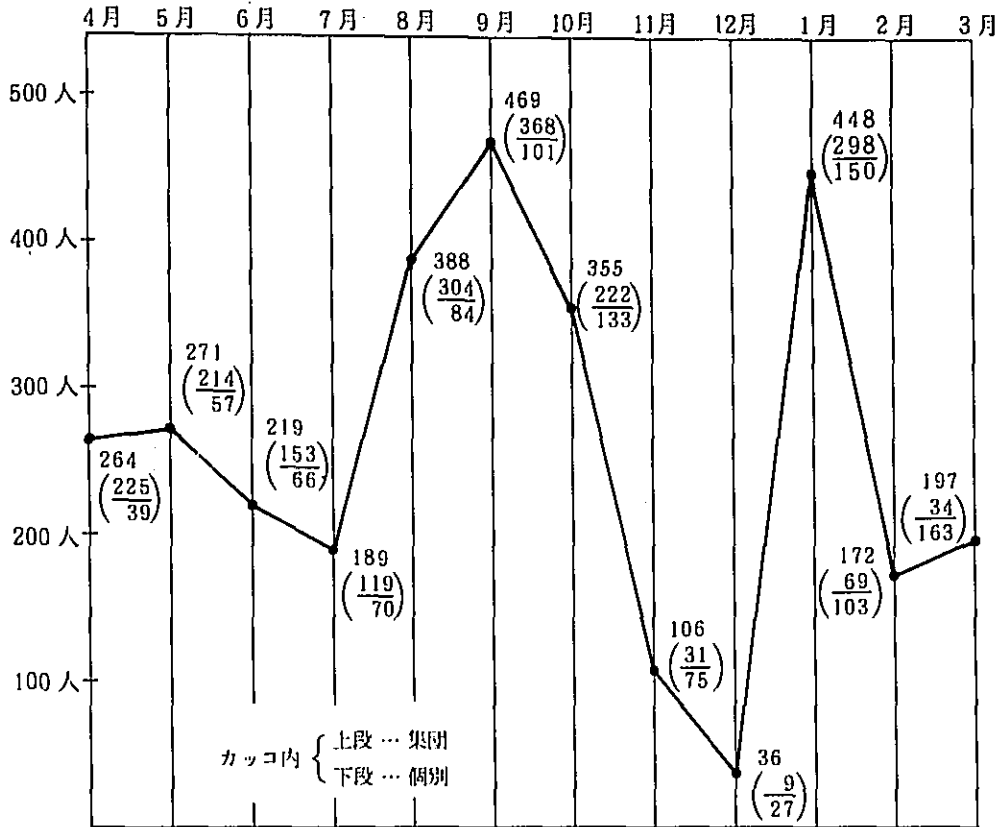
ブリーフィング実施時間および順序 (土曜日)

No	時間帯	内 容	形 式	所要 時間	備 考
1	10:00~	登録手続き	ブリーフィング担当者が指導	15分	実地指導 は次週月 曜日に実 施平日に 同じ但し クイック カード
2	10:15~	「 Guide to JICA 」	オート・スライド 上映	25分	
3	10:40~	「 Guide to TIC 」	オート・スライド 上映	25分	
4	11:05~	「 What to do, in case of Earthquake 」	ビデオ上映	25分	
5	11:30~	日本生活案内	オート・スライド 上映	25分	
6	11:55~	質疑応答	2~5の補足説明	20分	

昭和61年度のブリーフィング受講者は, 2,895名に達し, うち集団コース研修員は, 1,893名, 個別研修コース研修員は, 1,002名であった。月別の受講者の実績は下記の通りである。

受講者の多い時期は, 8.9.1月であった。(表1を参照)

ブリーフィング受講研修員の人数（実績と推移）



(5) オリエンテーション

ブリーフィングに引き続き研修員に対して、日本事情等について基礎的な知識を与え、研修活動および滞日生活の円滑化を図るとともに、我が国に対する理解を促進させるため、(社)国際交流サービス協会の協力を得てオリエンテーション業務を実施した。

オリエンテーションは昭和60年10月より1サイクルを3日とし週2サイクル(①月曜日～水②木曜日～土)実施しており、研修員の来日曜日の都合によっては、1サイクル目の後半から2サイクル目の前半を受講することも可能である。オリエンテーションの内容及び時間は表(1)～(4)の通りであるが、「日本の教育」は研修員の関心の強さ及び研修との関連からも非常に重要であることに鑑み9月から導入をはかった。この導入にあたっては、「日本産業技術発展史」を「日本の経済」において取扱うこととした。

表(1) オリエンテーションプログラム (61年4月～8月)

日	時 間	内 容
第1日(月)	10:00～12:00	日本の社会・風土
	13:30～14:30	日本語(Ⅰ)
	14:45～16:45	日本の歴史・文化
第2日(火)	10:00～12:00	日本の経済
	13:30～14:30	日本語(Ⅱ)
	14:45～16:45	日本の産業技術発展史
第3日(水)	9:00～13:00	都内見学
第1日(木)	月曜日のプログラムを実施する。	
第2日(金)	火曜日のプログラムを実施する。	
第3日(土)	水曜日のプログラムを実施する。	

※ 各講義内容は資料参照

	日	時 間
生け花紹介	月2回(第1.3火曜日)	17:15～19:30

表(2) オリエンテーションプログラム (61年9月～62年3月)

日	時 間	内 容
第1日(月)	10:00～12:00	日本の社会・風土
	13:30～14:30	日本語(Ⅰ)
	14:45～16:45	日本の歴史・文化
第2日(火)	10:00～12:00	日本の教育
	13:30～14:30	日本語(Ⅱ)
	14:45～16:45	日本の経済
第3日(水)	9:00～13:00	都内見学
第1日(木)	月曜日のプログラムを実施する。	
第2日(金)	火曜日のプログラムを実施する。	
第3日(土)	水曜日のプログラムを実施する。	

オリエンテーション各講義内容

表(3)

「日本の社会・風土」	「日本の歴史・文化」	「日本の教育」	「日本の経済」	「日本の産業発展史」	「日本語Ⅰ」	「日本語Ⅱ」
<p>I. 現代日本社会の特徴 物の豊か、多文化、生活、経済的、経済的な 社会情勢の重中と近代化</p> <p>II. 戦後の消費パターンの変化と生活様式 の変化平均型住宅の普及と家環境の 変化 平均型住宅の普及と家環境の変化 中産階級 生活様式の多様化 現代の平均的収入 家計支出 女性の職場進出</p> <p>IV. まとめ 日本社会の均質性と多様化</p>	<p>I. 日本の歴史概観 海外との交渉 海外文化の国際化</p> <p>II. 伝統文化と現代文化 日本文化の独自性と寛容 1) 連続性と不連続性 2) 現代に生きる伝統文化の紹介 3) 近代化と西洋化の違い 4) 文化の発見/発露 (アジアの 一員として)</p>	<p>I. 日本の教育の現況 1) 教育の各段階の現況 1) 幼少期教育 2) 小・中・高 3) 大学 4) 職業教育 5) 大学と大学院</p> <p>II. 歴史的背景 1) 明治時代の日本の教育計画 近代化の三つの方法 2) 近代化の教育</p> <p>III. 今後の課題 1) 高等教育の計画 2) 女性の教育 3) 遠隔教育</p>	<p>I. 戦後の経済発展の背景 1) 政府の産業政策 2) 文化・社会の背景と政治的安定 性 3) 財政金融と高い貯蓄性 4) 海外の援助 5) 海外技術の導入</p> <p>II. 外国関係 1) 貿易関係 2) 企業間トレーニング 3) 異文化交流 4) Q.C 5) 労働組合</p> <p>III. 経済技術協力 時代と展望</p>	<p>I. 明治維新後の技術の基礎 II. 戦後の産業発展の要因 産業構造の移行 1) 生産構造 2) 技術構造 3) 貿易構造 III. 戦後の産業発展の歴史 1) 高技術産業 (50年代) 2) 高度化学工業の進展 (60年代) 3) 産業高度化への対応 (70年代) 4) 創造的知識産業化の展 開 (80年代)</p> <p>IV. 今後の展望</p>	<p>I. 日本語の音 II. 日本語の音 III. 自己紹介 IV. 日本語の 文法</p>	<p>I. 日本語の音 II. 日本語の音 III. 自己紹介 IV. 日本語の 文法</p>
<p>I. 戦後の経済発展の背景 1) 政府の産業政策 2) 文化・社会の背景と政治的安定 性 3) 財政金融と高い貯蓄性 4) 海外の援助 5) 海外技術の導入</p> <p>II. 外国関係 1) 貿易関係 2) 企業間トレーニング 3) 異文化交流 4) Q.C 5) 労働組合</p> <p>III. 経済技術協力 時代と展望</p>	<p>I. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p> <p>II. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p>	<p>I. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p> <p>II. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p>	<p>I. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p> <p>II. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p>	<p>I. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p> <p>II. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p>	<p>I. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p> <p>II. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p>	<p>I. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p> <p>II. 戦後の日本経済発展の要因となった諸要因を 政府の政策、政治、教育、国際関係等比例 を取り、わかりやすく説明し、併せて、日本 経済の発展とともいえる外国関係及び日本経 済の最近の動向にもコメントをあてる。ま た、経済技術協力の現状と今後にも関心 を持たせたい。</p>

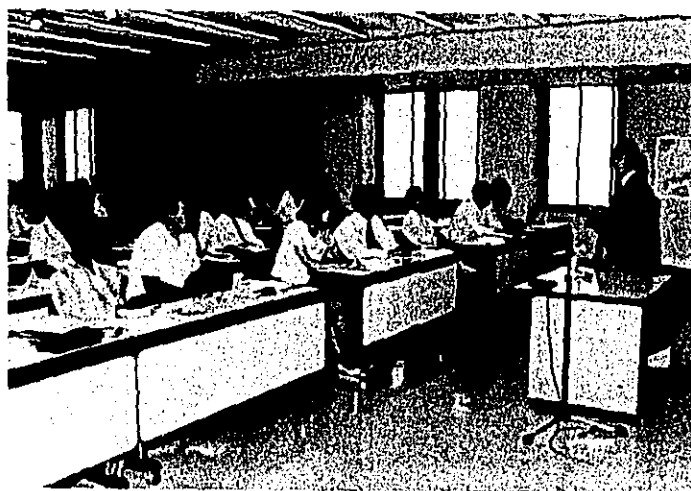
配布資料  
 (1) 基礎テキスト (2) 各講義レジュメ (3) "Statistical Handbook of Japan 1985"  
 (4) "Organization of the Government of Japan" (5) "Complete Atlas of Japan" (6) Japan of Today  
 (7) Japan, As it is (日本タチヨコ)



当センターが実施した、昭和61年度のオリエンテーション受講者総数は2,504名（内個別研修員702名）であり、各国別の受講者数は表（4）の通りである。

なお本年度作成或いは購入した教材等は以下の通りである。

- ① 都内見学用ルートマップ
- ② オリエンテーションハンドブックの改訂及び各国語版（中，西，仏）の作成（3）表参照，また各講義内容をより適確に理解せしめる一助として，各講義前に上映されるビデオテープ（英語版）の各国語版を次の通り購入した。
  - ① 社会風土用「Japan-an Overview」———仏，西，仏，中，インドネシア，アラビア語版
  - ② 日本の文化・歴史用「The Scroll of Times」———仏，西，インドネシア，タイ語版



昭和61年度オリエンテーション実施表

表 4

実施回	実施期間	受講員数	実施対象コース(実数)	備考
第1回(A)	4/7~4/9 (月)(水)	76 (7)	デジタル交換技術(10), 醸造工学(5), 家族計画医学保険(13), 金型工作技術(3), 農業普及(13), 貨幣勲章 製造分析精練(5), 生物研究(5), 上級技能者訓練(9), マレーシア・金型設計(1), アルゼンティン・小 児整形外科(1), ケニヤ・機械工学(1), セネガル・職業訓練(2), ビルマ・消化器病診断技術(1), 中国 ・化学工業(1)	
第1回(A)	4/10~4/12 (木)(土)	18 (1)	リモートセンシング(7), 地方行政(10), ソマリア・人工腎臓(1)	
第2回(A)	4/14~4/16 (月)(水)	9 (0)	船舶技術(9)	
第2回(B)	4/17~4/19 (木)(土)	21 (5)	犯罪防止(10), ベルギー・植物ホルモン(1), インドネシア・醗酵技術(2), インドネシア・放射線従業員 代測定(1), カンコク・電算プログラム技術開発(農業)(1)	
第3回(A)	4/28~5/1 (月)(木)	39 (0)	通信業務(1), 港務工学(5), 衛生通信技術(普通)(10), 家畜人工受精(3)	4/29(火) 祝日
第3回(B)	4/30~5/2 (木)(金)	24 (4)	プラント・メンテナンス(9), 植物遺伝資源(1), 中国・放射線化学基礎研究(1), パラグアイ・卸売市 場の財政行政管理(2), タイ・動物実験飼育管理(1)	
第4回(A)	5/6~5/8 (火)(木)	11 (2)	水路測量(9), フィリピン・編集(地形図作成)(1), マレーシア・東方政策経営幹部実務者研修(1)	5/5日(月) 祝日
第4回(B)	5/8~5/10 (木)(土)	28 (4)	デジタル有線伝送(5), 結核対策指導者(9), パキスタン・人造り技術協力(1), インド・ディジタル 有線伝送(1), メキシコ・精練及び製鋼(2)	
第5回(A)	5/12~5/14 (月)(水)	26 (1)	建設機械整備(10), 水力発電(8), 火力発電(7), タイ・長期経済計画(1)	
第5回(B)	5/15~5/17 (木)(土)	34 (8)	沿海鉱物資源探査(10), 鉄道路線保守管理(9), 測量技術(7), チュニジア・空調測量(1), マレーシア・ 栄養学(1), サイール・交通体系測量調査(1), インドネシア・殺虫剤抵抗(1), 水力発電(2), 家畜人 工受精(1), 港務工学(1),	

実施回	実施期間	受講 研修員数	実施対象コース（実数）	備考
第6回 (A)	5/19～5/21 (月)(水)	14 (0)	上水道施設(1)	
第6回 (B)	5/22～5/24 (木)(土)	12 (2)	都市交通セミナー(1)、インドネシア・ライ病免疫学(1)、フィリピン・ダム工学(1)	
第7回 (A)	5/24～5/27 (土)(火)	11 (1)	消防行政(1)、エジプト・漁業管理(1)	
第7回 (B)	5/29～5/31 (木)(土)	44 (18)	廃棄物処理(9)、生活改善普及(8)、家畜衛生研究(9)、フィリピン・醸酵技術開発(1)、タイ・醸酵技術開発(1)、マレーシア・水力発電(1)、インドネシア・細菌学(1)、セイシェル・冷感空調(1)、ペルー・職業訓練(2)、インドネシア・作物保護強化(3)、シンガポール・工業電子(3)、グアテマラ・地下水開発(2)、エジプト・雑草防除(1)、パラグアイ・稲作(一般)(1)、フィリピン・電話交換(1)	
第8回 (A)	6/2～6/4 (月)(水)	15 (3)	建築技術(2)、フィジー・水産養殖(1)、スリランカ・水力発電(2)	
第8回 (B)	6/5～6/7 (木)(土)	16 (4)	稲病害虫防除(2)、中国・太陽エネルギー研究(1)、ペルー・水産加工(1)、ペルー・野菜生産(1)	
第9回 (A)	6/9～6/11 (月)(水)	9 (1)	農業機械整備(8)、タンザニア・農業機械整備(1)	
第9回 (B)	6/13～6/16 (金)(月)	7 (7)	メキシコ・日墨技術教育センター(6)、タイ・都市廃棄物(1)	
第10回 (A)	6/16～6/18 (月)(水)	41 (18)	看護管理(6)、通信線路技術(1)、エチオピア・地下水開発(2)、作業療法(2)、ボリビア・鉄道施工管理(1)、パナマ・職業訓練(3)、ブラジル・工業技術(2)、インドネシア・航空計画(1)、マレーシア・海洋電気(1)、マレーシア・東方政策(2)、タイ・水力電気(1)、インドネシア・検証計画運営管理(2)、パラグアイ・家畜衛生(1)	
第10回 (B)	6/19～6/21 (木)(土)	56 (25)	計量標準(3)、結核対策(8)、サウディアラビア・繊維標準化(1)、イエメン・結核対策(1)、タイ・沿岸養殖(1)、ユーゴスラヴィア・水産養殖(1)、ホンコン・高級公務員研修(6)、タイ・化学技術協力事情視察(1)、エジプト・車両検査及び維持(3)、タイ・地熱開発(1)	

実施回	実施期間	受講 研修員数	実施対象コース（実数）	備考
第11回 (A)	6/23～6/25 (月)(水)	10 (2)	自動データ処理⑧、ビルマ・漁船修理技術②	
第11回 (B)	6/26～6/28 (木)(土)	25 (25)	コロンビア・小規模灌漑計画②、フィリピン・配管・延管②、マレーシア・海洋学① 中国・統計的品質管理⑤、中国・経営管理③	

昭和61年度オリエンテーション実施表

実施回	実施期間	受講 研修員数	実施対象コース（実数）	備考
第12回 (A)	6/30～7/2 (月) (水)	29 ( 3 )	沿岸漁具漁法(5), 漁業協同組合(1), フィジー・土壌肥料(稲作研究開発) (1), 韓国・気象災害防止(1), パラグアイ・臨床検査(1)	
第12回 (B)	7/3～7/5 (木) (土)	34 ( 21 )	家族計画組織活動(3), インドネシア・砂防工学(2), モーリシャス・獣医ワクチン製造(1), パラグアイ・造林研究訓練(1), タイ・国民経済所得(1), フィリピン・航空管制(6), 中国・木材財政(1), 中国・パーテイクアルボード(1), 中国・接着工程(1), インドネシア・家畜病研究(4), ベルー・分析(1), ベルー・家畜(1), ポリビア・植物病理(1)	
第13回 (A)	7/7～7/9 (月) (水)	19 ( 3 )	工業標準化(6), アルゼンチン・漁業教育行政(1), ポリビア・道路管理計画(1), ベルー・森林病虫害(1)	
第13回 (B)	7/10～7/12 (木) (土)	26 ( 11 )	農地水質源開発(5), タイ・地形図作成(1), ザイール・橋梁保守(1), インドネシア・種子生産(1), フィリピン・工業電気(1), マレーシア・潮位観測機器保守(1), インドネシア・灌漑排水(1), 韓国・小児科(3), フィリピン・建設機械運転(2)	
第14回 (A)	7/14～7/16 (月) (水)	23 ( 8 )	マイクロ波通信技術(5), 中国・高分子化学(1), ブラジル・工業開発(4), ブラジル・電気化学(1), ケニヤ・無線通通信(1), フィジー・電気通信(1)	
第14回 (B)	7/17～7/19 (木) (土)	19 ( 10 )	鉄道車両(9), インドネシア・農業普及(1), タイ・農業普及(1), エジプト・農業普及(1), フィジー・農業普及(1), ビルマ・農業普及(1), 中国・肉類研究と加工技術(3), 韓国・半導体材料(1), 中国・食肉専門用語(1)	
第15回 (A)	7/21～7/23 (月) (水)	29 ( 1 )	農林統計(5), 河川及びダム工学(3), エジプト・米作機械(1)	
第15回 (B)	7/24～7/26 (木) (土)	27 ( 4 )	テレビジョン放送技術(2), ラジオ放送技術(2), 農林統計(1), ベルー・カラーテレビ技術(1), ザンビア・テレビ放送中継(1), ガーナ・送信技術(1), タイ・ビデオ工学(1)	
第16回 (A)	7/28～7/30 (月) (水)	9 ( 2 )	選鉱精練(7), フィリピン・マイクロコンピュータ(1), コロンビア・JICA 現地職員(1)	
第16回 (B)	7/31～8/2 (木) (土)	11 ( 7 )	舗装製作用技術(4), パラグアイ・家畜栄養学(1), パラグアイ・稲作農業機械(1), インドネシア・薬品品質管理(2), 中国・水産加工技術(1), 中国・魚のすりみ加工技術(1), ネパール・葡萄栽培(1)	
第17回 (A)	8/4～8/6 (月) (水)	12 ( 3 )	デジタル交換技術(9), ビルマ・家畜衛生(2), マレーシア・灌漑排水(1)	

実施回	実施期間	受講研修員数	実施対象コース(実数)	備考
第17回 (B)	8/7～8/9 (木)(土)	27 (10)	デジタル交換技術(6), 教育テレビジョン番組(1), ブラジル・材質耐火(1), ユーゴスラビア・リユーマチ関面炎(1), ブラジル・可燃性生物毒性(1), インドネシア・宇宙開発(地球磁気)(1), フィリピン・蛭養殖(1), インドネシア・砂防学(1), チリ・農地防災(1), ブルキナファソ・放送機材(1), インドネシア・ラジオTV放送技術(1), チュニジア・地形図作成(1)	
第18回 (A)	8/11～8/13 (月)(水)	27 (17)	都市計画(1), ヴェネゼエラ・道路メンテナンス(1), シンガポール・生産性向上(1)	
第18回 (B)	8/14～8/16 (木)(土)	30 (12)	繊維高分子(9), 電波監視(9), パラグアイ・寄生虫学(1), チリ・家畜繁殖(1), インドネシア・リモートセンシング技術(1), タイ農業開発計画(1), チリ・港湾計画(2), ギニア・マイクローケープル(3), ルワンダ・道路建設機械保守(1), インド・電子交換システム(1), インド・太陽エネルギー(1)	
第19回 (A)	8/18～8/20 (月)(水)	59 (3)	病対策(1), 橋梁工学(1), 工業デザイン(5), 鉱山(3), 鉄鋼材試験検査技術(1), P.N.G.・測距技術(1), エジプト・海運経済及びデータプロセッシング(1), フィリピン・プロダクトデザイン(1)	
第19回 (B)	8/21～8/23 (木)(土)	53 (4)	地下水資源開発(8), アイソトープ放射線医学生物学(1), 腎不全対策(1), 林業林産(8), 森林造成技術者(2), フィリピン・河川工学(1), パラグアイ・コンピュータネットワーク(2), サウジアラビア・日本語(1)	
第20回 (A)	8/25～8/27 (月)(水)	50 (1)	貿易実践指導者(1), 空港セミナー(1), 電気事業経営(9), 無線通信技術(1), 航路標識(8), ネパール・無線通信技術(1)	
第20回 (B)	8/28～8/30 (木)(土)	85 (20)	精神薄弱福祉(1), 消化管病理学(9), 電気事業経営(1), 衛生通信技術(上級)(2), 国際テレックス通信技術(1), 初処理精米加工(2), 家族計画セミナー(1), マレーシア・産業公害対策(1), ウルグアイ・臨床検査(1), エジプト・農業開発(1), スリランカ, リベリア・初処理精米加工(2), メキシコ・都市計画(1), 中国・核安全放棄標準化(1), 中国・軟弱地盤戸基礎工学(1), 韓国・財政学(1), ミクロネシア・漁業(2), カタル・海洋環境研究(1), チュニジア・職業訓練(1), フィリピン・運営管理(1), インド・ビデオハードウェア(1), マレーシア・プレス加工(1), マレーシア・金型(1), タイ・構造物材料試験(1), タイ, ケニア・第3国研修(2)	
第21回 (A)	9/1～9/3 (月)(水)	26 (2)	工業所有権制度(9), 地熱エネルギー(3), ブラジル・植物組織培養(1), ポリビア・植物分析(1)	

実施回	実施期間	受講 研修員数	実施対象コース (実数)	備考
第21回 (B)	9/4～9/6 (木) (土)	43 (10)	犯罪防止(8), 建設施工(8), 気象学(7), インドネシア・船舶機関(2), タイ・地方上水道整備計画(2), フィリピン・TV技術(1), フィリピン・パイオテクノロジ(1), 韓国・鉱山保安(3), ベルマ・選捕(1)	
第22回 (A)	9/8～9/10 (月) (水)	62 (3)	産業医学(2), プラスティック(9), 循環器病対策(9), 下水道技術(8), 税関行政(8), フィリピン・代替肥料研究(1), ベルマ・射出成型 (職業訓練) (1), 中国・溶接技術(1)	
第22回 (B)	9/11～9/13 (木) (土)	72 (11)	化学技術研究(7), 地震工学(7), 配電技術(8), 海運経営実務(9), 経済開発セミナー(1), 雇用行政セミナー(9), ベルマ・林業試験場運営(1), インドネシア・リモートセンシング(1), 中国・標準物質検査(2), ガーナ・実験動物(1), 中国・製材(1), ネパール・水力発電(1), タイ・農業開発計画(2), マレーシア・水道施設維持管理(1), 中国・地震予知(1)	
第23回 (A)	9/16～9/18 (火) (木)	16 (7)	環境技術(9), 中近東電力(3), ザイール・水産生態増殖(2), ブラジル・洪水対策に係わる水資源管理(2)	9/15祝日
第23回 (B)	9/18～9/20 (木) (土)	14 (6)	輸出入食品検査(8), タイ・皮膚病(1), タイ・プライマリヘルスケア(2), ポリビア・畜産品種改良(1), ベルマ・免疫学(1), カメルーン・雇用開発セミナー(1)	
第24回 (A)	9/22～9/25 (月) (木)	27 (1)	一般統計(8), タイ・道路建設構造工学(1)	9/23祝日
第24回 (B)	9/25～9/27 (木) (土)	27 (3)	一般統計(5), 労働安全衛生(8), インドネシア・石炭工学(2), ユーゴスラビア・植物遺伝学(1)	
第25回 (A)	9/29～10/1 (月) (水)	40 (12)	貿易振興(3), 高速道路建設(9), メキシコ・エネルギー研究(9), インドネシア・地震工学(1), 中国地震予知(1), スリ・ランカ・工場見学(1)	
第25回 (B)	10/2～10/3 (木) (土)	55 (25)	自動制御(7), 結核対策細菌技術(3), 防災技術(8), 受胎卵移植技術(6), 専門看護(6), マレーシア・加工技術(6), ユーゴスラビア・超音波技術(1), 韓国・水稲栽培(1), インドネシア・薬品品質管理(1), 韓国・稲病害虫(1), 中国・観光経済ガイド(1), トルコ・水力発電(2), トルコ・水力発電ダム(1), フィリピン・パイオテクノロジ(1), タイ・農業協同組合振興(5), タイ・林業普及(1), タイ・水力発電(1), マレーシア・放射線防止, 管理(3)	
第26回 (A)	10/6～10/8 (月) (水)	43 (2)	港湾セミナー(8), 観光振興セミナー(8), 石炭資源開発(8), 船員教育行政(8), メキシコ・水理模型実験(1), メキシコ・漂砂(1)	

実施回	実施期間	受講 研修員数	実施対象コース(実数)	備考
第26回 (B)	10/8～10/11 (水)(土)	47 (18)	港務セミナー(3)、交通警察行政セミナー(4)、開発エコノミスト(一般)(6)、鉄道電化(5)、一般統計(1)、インドネシア・地震工学(1)、メキシコ・養殖(1)、タイ・プライマリーヘルスケア(1)、中国・視覚教育番組(3)、スーダン・食品加工改善計画(2)	10/10祝日
第27回 (A)	10/13～10/15 (月)(水)	22 (1)	婦人関係行政セミナー(4)、交通計画セミナー(4)、ビルマ・病理学(1)	
第27回 (B)	10/16～10/18 (木)(土)	77 (60)	通信網計画設計(7)、タイ・ハイウェイ計画(1)、ブルネイ・林業研究(1)、インドネシア・熱帯病理学(1)、フィリピン・土壌侵蝕管理(2)、ケニア・森林利水(1)、マレーシア・農業灌漑(1)、フィリピン・土木工学(2)、パラオ・森林土壌(2)、韓国・園芸作物(1)、インドネシア・薬理学(1)、エジプト・灌漑計画(4)、インドネシア・灌漑排水(2)、インドネシア他・水資源開発(4)、フィリピン・灌漑システム維持管理(1)、インドネシア・灌漑排水(3)、フィジー・アセアン招聘計画(4)、ビルマ・アセアン招聘計画(4)、ビルマ・アセアン招聘計画(4)、P.N.G.・アセアン招聘計画(4)、ザンビア・豆炭(2)、フィリピン・地形図作成(1)	
第28回 (A)	10/20～10/22 (月)(水)	22 (3)	借款手続セミナー(4)、河川工学(1)、シンガポール・教育改善(1)、中国・核医学(1)	
第28回 (B)	10/23～10/25 (木)(土)	46 (12)	造船技術経営管理(9)、国土開発セミナー(7)、救難防災(特設)(6)、土壌及び基礎工学(8)、省エネルギー(4)、モザンビーク・コピ機修理技術(1)、タイ・植物生理学(1)、イラク・土壌及び基礎工学(2)、ペルー・土壌及び基礎工学(1)、ブルネイ・醸造技術(1)	
第29回 (A)	10/27～10/29 (月)(水)	16 (2)	住宅建設(4)、ブラジル・医療事情視察(1)、チュニジア地図作成(1)	
第29回 (B)	10/30～11/1 (木)(土)	15 (9)	リモートセンシング(6)、チュニジア・地図作成(1)、チリ・水産養殖(1)、中国・環境庁養殖物質研究(1)、スリ・ランカ・内科実験室(1)、スリ・ランカ・内視鏡(1)、タイ・港務システム、行政(1)、中国・昆布食品の加工技術(1)、韓国・作物生理(1)、象牙海岸・超音波診断(1)	
第30回 (A)	11/4～11/8 (火)(木)	24 (2)	データ通信技術(4)、海洋物調査(8)、ペルー・地盤工学(建築構造物)(2)	11/3祝日
第30回 (B)	11/6～11/8 (木)(土)	21 (11)	工業所有権制度(4)、フィリピン・環境調査(1)、ビルマ・橋梁計画(1)、スーダン・消化器、耳鼻咽喉科(2)、スリ・ランカ・適性技術開発(1)、ユーゴスラビア・分子化学(1)、ブラジル・水利工学(1)、ナイジェリア・オンコンセルカ対策(1)、ヴェネゼエラ・レントゲン技術、機器の維持(1)、ボリビア・経済地質学(2)	



実施回	実施期間	受講研修員数	実施対象コース（実数）	備考
第31回 (A)	11/25～11/27 (火)(木)	16 (11)	海老増養殖(5), ケニア・建築工學(1), ケニア・土壌工學(1), ケニア・建築積算(1), ジョルダン・職業訓練(3), エジプト・小児集中看護(1), タイ・海産物検査品質管理(2), 中国・グループ技術(2)	
第32回 (A)	12/8～12/10 (月)(水)	22 (13)	医療放射線技術(9), パラグアイ・臨床検査(1), カタル・工業デザイン(1), 中国・情報統素(7), シンガポール・エレクトロニクス(1), メキシコ・溶接(1), メキシコ技術開発計画(1)	
第33回 (B)	1/8～1/10 (木)(土)	20 (10)	船舶技術(10), 中国・放射線化学分析(1), 中国・理科教育(1), 韓国・野菜生理学(1), タイ・配電指令制度(2), 韓国・農作物胚原質(1), 韓国・農作物成長調整(1), 韓国・動物生殖作用(1), ブラジル体外受精(1), クック・海洋資源探査(1)	
第34回 (A)	1/12～1/14 (月)(水)	73 (12)	早期胃癌診断(20), ガラス工學(9), 認証検査制度(11), 中小企業対策(12), 産業環境対策(9), ビルマ・消化器病(3), パナマ・産業医学(1), ベルギー・食品微生物(1), タイ・工業製品(1), 中国・地震予知(1), スリランカ他・小児専門医療(3), ブラジル・PCB公害防止技術(1), タイ・沿岸養殖(1),	
第34回 (B)	1/14～1/18 (水)(土)	94 (14)	国際電話通信技術(3), 国際データ通信技術(3), 水産食品加工(10), 鉄道信号(8), 農業利用(7), コンテナ埠頭整備計画(7), 行政情報制度(11), 原子力電機(6), 小児科専門療(5), タイ・金属加工(2), インドネシア・鉱山(1), ビルマ・宝石研磨(3), インドネシア・地域保健対策(2), タイ・ブライマリヘルスクエア(2), マレーシア・ビール醸造(1), マレーシア・運輸管理(1), ベルギー・工作技術(1)	
第35回 (A)	1/19～1/21 (月)(水)	50 (5)	熱帯医学研究(7), 貿易振興セミナー(9), 小型船舶機関(4), 沿岸漁具漁法(8), 消化器超音波診断(7), 養殖一般(10), 韓国・生命工學(1), エジプト・プラズマ物理学(1), ザンビア・鉱物探査(1), フィリピン・プラントリベリゼーション(2)	
第35回 (B)	1/22～1/24 (木)(土)	80 (34)	環境行政(10), 寄生虫予防指導者(9), 教育テレビジョン番組(10), 原子力基礎実験(8), テレビジョン放送技術(9), メキシコ・雷(電力線保全)(2), シンガポール・下水自動処理装置操作保守(1), 中国・科学技術管理(9), インドネシア・ラジオ, テレビ放送訓練(2), シンガポール・テレビジョン放送技術(2), スーダン・テレビジョン送信機技術(1), タイ・魚類栄養(1), シンガポール・テレビジョン放送技術(2), ベルギー・病院管理(1), ニューゴラスラビア・建築学(2), インドネシア・木材組織培養(1)	
第36回 (A)	1/26～1/28 (月)(水)	27 (2)	石油化学工業(10), 自動車技術行政(9), タイ・技術協力計画視察(1), インドネシア・地方道路(1)	
第36回 (B)	1/29～1/31 (木)(土)	57 (24)	空港管理保安(6), 放送技術(10), 研究開発技術(9), マレーシア・地方行政(7), フィリピン・航空管制機器管理(1), パナマ・気管内視鏡(1), ザンビア・超音波診断(1), マレーシア・資源開発(1), ドミニカ・鉱山開発(1), インドネシア・野菜生産(1), 中国・浄水場管理, 施設整備(2), インドネシア・職業訓練(エレクトロニクス)(3), インドネシア, 船員教育運営(1), ベトナム・環境視察(1), ポリビア・経済地質(1), ケニヤ・図芸開発計画(2), パラグアイ・製材所運用維持(1)	

実施回	実施期間	受講 研修員数	実施対象コース（実数）	備考
第37回 (A)	2/2～2/4 (月)(木)	24 (2)	犯罪防止上級コース②, フィリピン・水力発電②	
第37回 (B)	2/5～2/7 (木)(土)	18 (11)	放射線科学基礎研究⑦, タイ・橋梁工学②, 韓国・素材成型工程①, ネパール・コンタクトレンズ, 義眼②, フィリピン・水力発電②, 中国・地震予知①, 韓国・光通信技術①, ベルギー・工作技術①, タイ・稲作①	
第38回 (A)	2/9～2/12 (月)(木)	59 (5)	野菜採種⑩, 野菜生産⑧, 稲作(専修)⑥, 稲作機械化⑩, 水管理⑧, 灌漑排水⑩, ノーススタン・燃料技術①, インドネシア・化学工業研修開発①, ガーナ・編物技術①, マレーシア・コンピュータ制御開発②	2/11祝日
第38回 (B)	2/12～2/14 (木)(土)	35 (15)	都市整備⑫, 貨物荷役業務⑧, エチオピア・港湾管理②, ペルー・金銀品質検査①, インドネシア・植物栽培整理①, インドネシア・ウイリス同定技術①, インドネシア大豆菌の根粒研究①, 中国・肉類研究・加工技術②, インドネシア・幹線道路網整備計画①, シンガポール・沖合廃棄物処理①, マレーシア・中小企業①, マレーシア・マレーシア東方政策②, パラグアイ・フアパイバ道路①, インドネシア・機械①,	
第39回 (A)	3/2～3/4 (月)(木)	4 (4)	アルゼンチン・選鉱プラント開発①, メキシコ・資源開発協力基礎調査①, 中央アフリカ・養鶏① タイ・教育①	
第39回 (B)	3/5～3/7 (木)(土)	21 (8)	魚類整理防疫⑤, 鉱山保安⑧, タイ・都市道路改良交通安全計画①, インド・地下鉄工事②, 韓国・船舶金型設計①, タイ・金屈加工①, 中国・鉱山物検査研究①, タイ・皮硝①, スリランカ・内視鏡①	
第40回 (A)	3/9～3/11 (月)(水)	25 (5)	農業機械設計⑨, 稲作(一般)⑬, ビルマ・稲作①, タンザニア・稲作①, タイ・都市計画①, ビルマ・ウイリス学(消化器感染症)①, ギニアビサオ・稲作機械化①	
第40回 (B)	3/12～3/14 (木)(土)	23 (23)	ウルグアイ・植物病理①, 韓国・農業気象災害研究①, ネパール・テレビ放送技術(テレビ放送網)②, パラグアイ・森林開発技術(林業開発)①, パラグアイ・木工技術(林業開発)①, タイ・養蚕技術①, ウルグアイ・臨床検査①, タイ・昆虫病の生物的管理①, タイ・奇病対策①, タイ・稲製物の品質管理①, ケニヤ・ウイリス学①, タイ青少年開発(小規模工業)②, フィリピン・農業開発①, スリ・ランカ・会計検査実務①, 中国・地震予知①, タイ・雑草研究開発①, 中国・誘致微気象の研究手法①, 中国・耐令品種の検定方法①, 中国・鉱山物検査研究②, 中国・昆布乾燥, 食品加工①	
第41回 (A)	3/23～3/25 (月)(水)	2 (2)	マレーシア・測量技術(グラフティック)①, フィリピン・海老養殖技術①	

実施回	実施期間	受講 研修員数	実施対象コース（実数）	備考
第41回 (B)	3/26~3/28 (木) (土)	24 (24)	中国・電子化機械製品自動車組立技術(1)、中国・コンピュータ・授用計画(1)、マレーシア・原子力 分析(1)、マレーシア・家畜病訓練計画(1)、マレーシア・農業開発政策(1)、パキスタン・鉄鋼製造(1)、 フィリピン・熱帯医学(1)、タイ・視覚教材(1)、タイ・地方上水道整備計画(1)、タイ・水力発電(1) タイ・家畜衛生(動物学)(1)、アルゼンチン・家畜ウイルス研究(1)、マレーシア・繊維製品製造(1) パキスタン・資源開発基礎調査(3)、コスタリカ・電気顕微鏡(1)、中国・土質材料(1)	
	合計	2,504 (702)	中国・点字補助の設計施工(1)、シンガポール・クリールーム(2)、メキシコ・農業生産性向上(1)	

( ) 数字は特設を含む、個別コース研修員数

生け花紹介

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
4月8日	4月15日	5月13日	5月27日	6月3日	6月17日	7月1日	7月15日	8月5日	8月19日	9月9日	9月30日
52人	23人	30人	25人	20人	26人	20人	15人	21人	53人	28人	32人

第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	合計
10月7日	10月21日	11月4日	11月25日	12月9日	1月13日	1月27日	2月3日	2月10日	3月3日	3月24日	611人
32人	26人	20人	15人	11人	38人	35人	19人	24人	21人	25人	

## (6) 健康管理

診療室は嘱託医師1名（但し6名の嘱託医師が毎日交替）と常勤看護婦1名の体制のもとに次の通り実施した。研修員の健康上のカウンセリング予防措置および応急措置を行うこと、また、本格的な検査、治療が必要と思われる場合には、近隣の医療機関を紹介することを主な役割としている。

嘱託医師の派遣を含む診療室の運営については、東京女子医科大学及び国立病院医療センターの協力により円滑な実施をはかった。



診療室運営は下記のとおり。

診療日及び時間 ①診療日 月曜～土曜（祝祭日は休診）

②診療時間 16時30分～21時

※ 但し、嘱託医師の勤務は18時～21時

従って16時30分～18時までは看護婦による応急措置及び診察受付時間とする。

業務内容 ①研修員の一般的な健康相談

②研修員の傷病に対する診察及び応急措置

③病状により適当な医療施設への紹介

（渋谷区医師及び歯科医師会より紹介のあった最寄りの開業医・病院—病状によって東京女子医大病院、あるいは国立病院医療センター等）

かかる診療室を含む医療体制の整備により、健康相談を通じ研修員の心身の不安

の解消に大いに貢献したと思われる。

主な疾患としては、気候や生活環境の変化に起因すると思われる風邪、皮膚疾患、便秘等であり、これらの諸疾患は来日直後、日本の生活に順応する過程において多く見受けられる。

昭和61年度も診療室利用者数(2,142)に比較して、外部医療機関の紹介件数は288人と著しく低くなっており診療室が効果的に機能していることが伺われる。

診療室の利用状況および外部医療機関紹介数は資料の通りである。

診療室利用状況表

61.4 ~ 62.3

	内	外	皮膚	整形	泌尿	眼	耳鼻	婦人	歯	人数計	稼働日数	平均
4	78	14	13	22		2	2		2	133	25	5.32
	7	4		1					4	16		
5	113	13	23	16	4	6	2		12	189	25	7.56
	7 (1)	3	1	2 (2)			2		5	20 (3)		
6	95	9	34	26	2	5	2	8	4	185	25	7.4
	5	3	2	8	1	2	2	6 (2)	5	34 (2)		
7	118	5	19	15	4	4	4	1	2	172	27	6.4
	9	1	3	2	1	2	2		5	25		
8	100	16	29	21	3	10	4		12	195	26	7.5
	4	5	3	1	1 (1)	2	3		8	27 (1)		
9	118	11	35	30	4	12	3		12	225	24	9.4
	6	1 (1)	2	1	1	4 (1)	3		9	27 (2)		
10	159	12	24	19	5	3	5	1	11	239	26	9.2
	10	1	1	3	3 (1)	1	5		6	30 (1)		
11	103	13	27	21	3	4	4	1	9	185	23	8.04
	9	2 (1)	1	8	4 (1)	3			6	33 (2)		
12	81	4	16	11	1	5	2		10	130	24	5.42
	4			2		4	1	(1)	8	19 (1)		
1	112	9	26	13	1	6	6	4	7	184	24	7.67
	3 (2)	1	1	2	1	1	2		5	16 (2)		
2	94	9	25	18	1	5	8	2	15	177	23	7.7
	4	2	1				3	2 (1)	12	24 (1)		
3	74	1	30	12		1	3	4	3	128	25	5.12
	5		2	3			1	3	3	17		
合計	1,245	116	301	224	28	63	45	21	99	2,142	297	7.21
	73 (3)	23 (2)	17	33 (2)	12 (3)	19 (1)	24	11 (4)	76	288 (5)		

(注) 下段の数字は外部医療機関紹介者数  
( ) 内は入院を要した者

地域別診療室利用状況表

地域 月	地域別患者数						計
	アジア	中近東	アフリカ	中南米	オセアニア	その他	
4	84	6	10	29	4		133
5	99	30	26	30	4		189
6	110	21	18	33	2	1	185
7	84	21	33	31	3		172
8	100	34	29	28	4		195
9	120	32	38	31	4		225
10	128	25	48	32	5	1	239
11	103	21	29	30	2		185
12	80	8	10	26	3	3	130
1	110	16	21	30	4	3	184
2	103	24	17	30	1	2	177
3	95	9	11	11	1	1	128
合計	1,216	247	290	341	37	11	2,142

地域別患者数

地域 月科	了							月計	中							計				
	内	外	皮	整	泌	眼	耳		婦	菌	計	内	外	皮	整		泌	眼	耳	婦
4	52	10	9	10		2			1	84	3	1		2						6
5	61	5	12	7	1	4	1		8	99	16	3	5	4			1		1	30
6	66	6	18	9		3		6	2	110	7	2	4	8						21
7	68	3	7	4		1	1			84	16		1	4						21
8	66	6	12	7		4	1		4	100	9	4	7	6		1	2		5	34
9	73	3	16	15	1	7			5	120	14	5	4	5		1			3	32
10	94	7	10	8	1	2	1		5	128	14	1	4	1	1		1		3	25
11	55	6	17	15	1	2	2	1	4	103	10	2	2	4					3	21
12	46	3	10	8		3	2		8	80	3		2		1	1			1	8
1	65	5	20	7		5	2	2	4	110	9		2		1			1	3	16
2	56	7	19	5		3	5	1	7	103	11		4	7		1		1		24
3	52	1	26	8		1		4	3	95	5		2	1			1			9
計	754	62	176	103	4	37	15	14	51	1,216	117	18	37	42	3	4	5	2	19	247

地域別患者数

地域 月科	フフリカ						月計	中南米						計						
	内	外	皮	整	泌	眼		耳	婦	齒	計	内	外		皮	整	泌	眼	耳	婦
4	5	2		3			10	4	16	1	4	6					1		1	29
5	13	2	4	2	3	2	26	5	22	3	2								3	30
6	11		3	2	1		18	6	9	1	9	7	1	2	2					33
7	20	1	2	1	4	1	33	7	11	1	9	6							2	31
8	16	3	3	2	2	1	29	8	7	3	7	5	1	3	1				1	28
9	20	2	5	6	1	2	38	9	9	1	10	3	2	2	1				3	31
10	21	2	7	9	3	1	48	10	24	2	3	1					2			32
11	17	3	5	1	2	1	29	11	21	1	3				1	2			2	30
12	8		2				10	12	20	1	1	3							1	26
1	13	3				4	21	1	20	1	3	5			1					30
2	12			2	1		17	2	15	1	1	4			1	3			5	30
3	8			2		1	11	3	8		1	1					1			11
計	164	18	31	30	17	8	290	計	182	16	53	41	4	12	13	2	18	2	18	341



地域別患者数

地域 月科	才七二了							その他の												
	内	外	皮	整	泌	眼	耳	婦	齒	計	内	外	皮	整	泌	眼	耳	婦	齒	計
4	2			1			1			4	4									
5	1			3						4	5									
6	2									2	6								1	1
7	3									3	7									
8	2			1		1				4	8									
9	2			1			1			4	9									
10	5									5	10	1								1
11		1		1						2	11									
12	2					1				3	12	2		1						3
1	3			1						4	1	2		1						3
2										1	2		1	1						2
3	1									1	3			1						1
計	23	1		8		2	2		1	37	計	5	1	4					1	11

総数 2,142 名

## (7) 日本語研修

日本語研修は、集中講習と一般講集に区分し、いずれも（財）国際協力サービスセンターの協力を得て実施した。また、日本語研修課外活動として、広く在京 JICA 研修員を対象に日本語スピーチ大会を実施した。

### イ 集中講習

集中講習は、研修員の技術研修期間における言語的支障をできるだけ軽減し、研修員と研修指導者等との間のコミュニケーションを円滑にし、研修効果を高めることを目的に、それぞれの専門分野の研修開始前に一定期間実施するもので、研修プログラムの一環として行なうためその受講が義務づけられている。

日本語研修期間は、要求される日本語運用能力の程度等に応じて決まり、61年度は概ね1ヶ月程度が半数、2ヶ月～3ヶ月が半数近く、6ヶ月前後からまれに1年が数パーセント程度であった。

研修時間は、通常月曜日から金曜日まで毎日5時間（午前9：30～12：00、午後1：30～4：00まで）となっている。

また、学習効果を考慮し、レベルチェックをしながら、10人前後のクラス編成を標準に実施している。

集中講習の受講者数は、受入研修員数の着実な増大とあいまって、増加しており、特に個別研修コースの地方における実施の増大に伴う日本語研修の必要性が高まっていることもあり、今後とも増大するものと考えられる。

テキスト等教材は、JICAが研修員のために開発した共通テキスト、分野別テキスト等を使用し、出来る限り夫々の研修員の日本語使用場面を考慮して指導にあたっている。

教授法は直接法により、日本語研修期間が概ね1ヶ月未満の場合は会話を中心に指導し、テキストはローマ字版を使用することが多い。1ヶ月以上の場合は漢字かな混り版のテキストを使用し、最初から文字を導入している。指導にあたっては、受講する研修員の日本語研修についての背景や内容が非常に異っている。つまり、日本語学習の経験の有無（最近、既習してくる研修員が目立っている）、母語の相違、技術研修期間の長短、研修内容の相違、日本語の必要性の度合いの相違等、様々な難しい条件があり、それらの多様性に適切に対応した効果的な研修の実施に留意している。また教室外の研修として、デパー

ト、工場、博物館見学等半日の屋外研修、合宿研修をとりいれ学習意欲の向上に努めている。



日本語集中講習の授業風景

#### ロ 一般講習

一般講習は、技術研修の課外活動の一つとして研修員の自由参加により実施しており、日常生活（外出、買物等）及び日本人との交流を円滑にし、日本文化・習慣の理解を促進することを目的としている。

クラスはレベルに応じて初級、中級、上級に分け、研修期間は、それぞれ2ヶ月（48時間）とし予め、開始時期を設定している。

授業は通常月曜日から木曜日まで毎日1時間半（午後6：30～8：00時まで）行っている。

一般講習の場合は、自由参加であるため、講習が進むにしたがって漸減していく傾向にあるが、出席率が終了時50%以上に達した研修員に対しては、参加証書を授与した。

一般講習で使用するテキスト、教材は、JICAが開発した共通テキスト、Simple Conversation in Japanese、絵教材、VTR教材等である。

#### ハ 日本語スピーチ大会

集中講習および一般講習受講者のみならず既習者等広く在京のJICA研修員

を対象に、日本語研修の成果の発表の機会とするとともに日本語への関心を喚起することを目的に昭和62年3月7日（10時から13時）オリエンテーションルームにおいて、日本語スピーチ大会を開催した。

時間の関係から20名に絞った出場者は、夫々の自由テーマについて、クラスでは伺えない、日本語の力を披露するとともに、意見発表、自国の紹介の場ともなり、有意義な会となった。

## ニ 実 績

昭和61年度、日本語研修実績は次のとおりである。

### i 集中講習

表(1) 受入形態別日本語研修コース数及び人数

受入形態	集 団		個 別				合 計
	集 団	日 墨	C P	単 発 (特設含)	国 際	G, G	
コース数	19 (0)	9 (0)	87 (18)	15 (3)	1 (0)	2 (1)	133 (22)
入 数	189 (0)	18 (0)	155 (51)	38 (5)	2 (0)	4 (2)	406 (58)

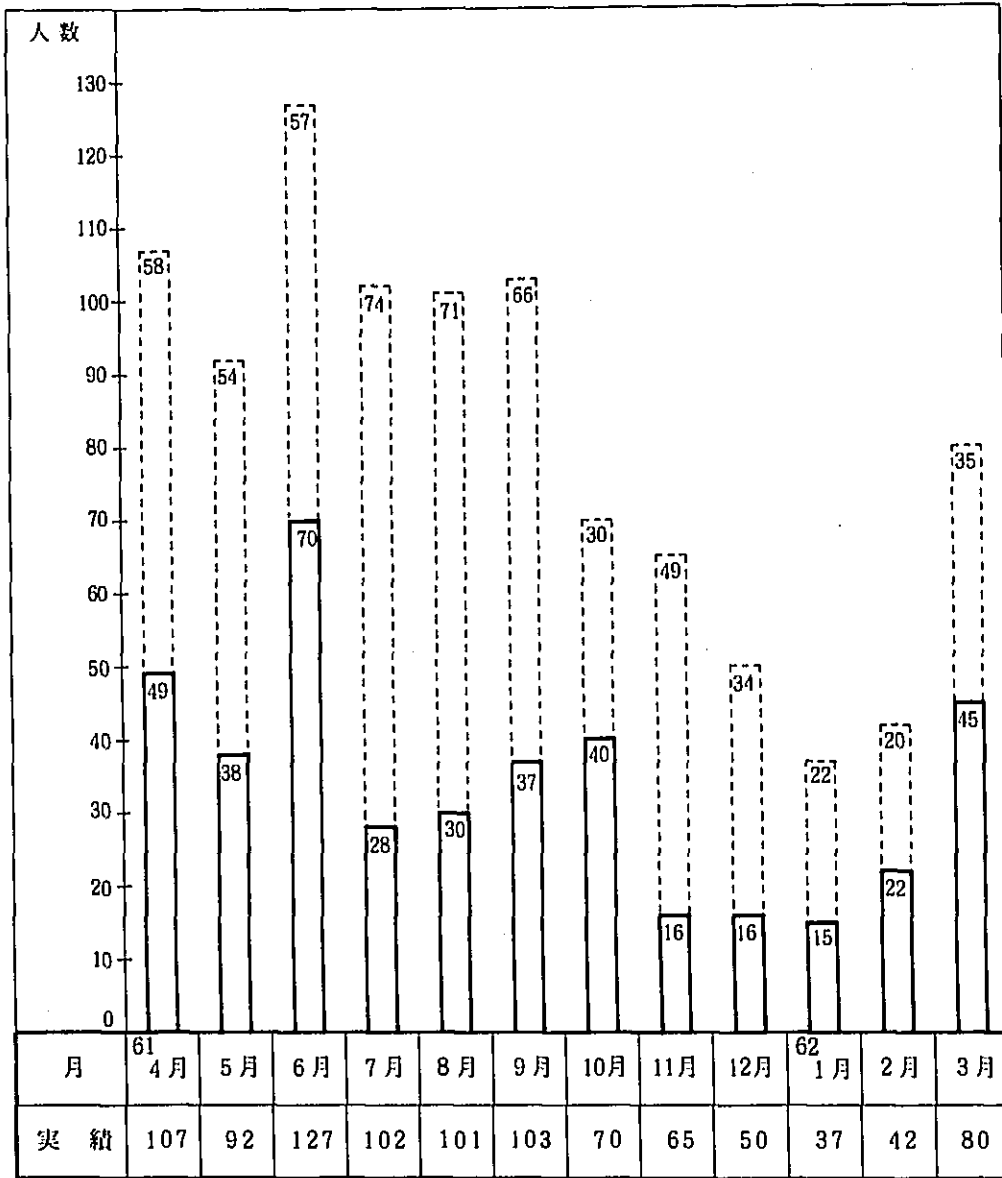
( ) 内の数字は前年度からの継続分を外数である。

表(2) 日本語研修時間数別分類

時 間 数		0 H ~ 100 H	101 H ~ 200 H	201 H ~ 300 H	301 H ~ 400 H	401 H ~ 500 H	501 H ~ 1200 H	計
研修コース数 (パーセント) %	継続	14 (63.4)	5 (22.7)	1 (4.5)	0 (0)	2 (9.1)	0 (0)	22 (100)
	新規	51 (38.1)	42 (31.3)	30 (22.4)	10 (7.5)	0 (0)	1 (0.7)	133 + 1 (100)
人 数 (パーセント) %	継続	42 (72.4)	12 (20.7)	1 (1.7)	0 (0)	3 (5.2)	0 (0)	58 (100)
	新規	198 (48.8)	95 (23.4)	92 (22.6)	19 (4.7)	0 (0)	2 (0.5)	406 (100)

No. 39コースは日本語研修時間数によって2クラスに分けたものである。

表(3) 月別受講者数



実線の部分は当該月新規受講研修員数（406人）を示す。

点線の部分は前月より継続して受講している研修員数（570人）を示す。

日本語集中講習実施一覽表

表(4)

昭和61年4月1日～昭和62年3月31日

コース 番号	コースの 種別	研 修 コ ー ス		人 数	日 本 語 研 修		全 研 修 期 間	備 考
		コ ー ス 名	国		名	日本語 時間数		
(1)	個・CP	職業訓練(電気・電子・機械)	ゼネガル	4	60.6/24～61.5/23	185	60.6/13～61.12/21	60年度継続分
(2)	個・CP	技能検定	インドネシア	1	61.1/20～61.8/1	435	61.1/13～61.10/8	"
(3)	個・CP	職業訓練	トンドネシア	6	61.1/20～61.4/4	20	61.1/13～61.7/2	"
(4)	個・CP	職業訓練指導員上級技能訓練センター	マレーシア	4	61.1/20～61.4/4	20	61.1/17～61.9/29	"
(5)	個・CP	小児看護と伝染病管理	フィリピン	1	61.1/20～61.4/25	95	61.1/17～61.12/17	"
(6)	個・CP	医療設備	ガーナ	1	61.2/17～61.4/4	20	61.2/12～61.8/13	"
(7)	個・GG	日本語	タイ	2	61.2/17～61.5/16	160	61.2/17～61.5/16	"
(8)	個・CP	中日友好病院	中国	10	61.3/3～61.4/4	20	61.2/27～61.8/31	"
			"	10	61.3/3～61.5/4	20	61.2/27～61.8/31	"
(9)	個・単	道路建設機械保守	中央アフリカ	2	61.3/3～61.8/15	485	61.2/26～61.12/10	"
(10)	個・CP	ジョモニアック農工大・農業経済学	ケニア	1	61.3/3～61.4/4	20	61.2/27～61.10/3	"
(11)	個・単	定置網漁法	ガーナ	2	61.3/17～61.4/17	65	61.3/10～61.9/17	"
(12)	個・CP	園芸培養計画	ネパール	1	61.3/17～61.4/11	45	61.3/11～61.7/1	"
(13)	個・CP	稲作機械化	ケニア	1	61.3/18～61.4/11	45	61.3/11～61.7/8	"
(14)	個・CP	薬品品質管理	インドネシア	1	61.3/17～61.4/11	45	61.3/6～61.10/15	"
(15)	個・単	人工漁獲	韓国	1	61.3/17～61.4/10	40	61.3/12～61.9/12	"
(16)	個・CP	労災リハビリテーション	タイ	1	61.3/17～61.6/13	260	61.3/13～61.9/15	"
(17)	個・CP	化学工業	インドネシア	2	61.3/17～61.5/16	160	61.3/14～61.9/22	"
(18)	個・CP	鍛造技術	タンザニア	1	61.3/17～61.5/16	160	61.3/10～61.9/14	"
(19)	個・CP	林業	パラグアイ	3	61.3/17～61.5/9	135	61.3/9～61.9/2	"
(20)	個・CP	とうもろこし栽培	パラグアイ	1	61.3/17～61.4/25	95	61.3/11～61.12/21	"
(21)	個・CP	種子生産	パラグアイ	1	61.3/17～61.4/25	95	61.3/11～61.12/21	"
(22)	個・CP	木材生産技術	タイ	1	61.3/17～61.4/25	95	61.3/11～61.7/1	"
			(88)					
1	集・日學	日盛交流計画	メキシコ	6	61.4/1～61.4/18	70	61.3/25～62.1/24	
2	個・CP	農業経済	エジプト	1	61.4/1～61.4/18	70	61.3/28～61.6/29	
3	個・CP	農業機械化	パラグアイ	1	61.4/1～61.4/11	45	61.3/30～61.8/16	
4	集・日學	建築技術・地誌工学	メキシコ	2	61.4/1～61.4/11	45	61.3/25～61.12/15	
5	個・CP	免疫学	コロンビア	1	61.4/1～61.6/6	235	61.3/22～62.3/18	

コース番号	コース種類	コース名	国名	人数	日本語研修		全研修期間	備考
					日本語講習期間	日本語時間数		
6	個・単	食用水産物普及技術	ペルー	1	61.4/1～61.5/2	115	61.3/26～61.7/31	
7	集・日型	水産養殖	メキシコ	1	61.4/1～61.5/2	115	61.3/25～61.12/20	
8	"	水産資源学	"	1	61.4/18～61.5/2	50	61.4/18～61.8/23	
9	"	都市計画	"	1	61.4/1～61.5/2	115	61.3/25～61.10/30	
10	"	電子工学	"	3	61.4/1～61.5/2	115	61.3/25～62.2/3	
11	"	心臓学	"	1	61.4/1～61.6/27	310	61.3/25～62.3/7	
12	"	品質管理	"	2	61.4/1～61.5/2	115	61.3/25～62.3/25	
13	"	自動車部品の設計	"	1	61.4/1～61.4/18	70	61.3/25～62.3/25	
14	集団	農業普及	インドネシアほか12か国	14	61.4/10～61.5/2	80	61.4/3～61.7/27	
15	個・CP	職業訓練	セネガル	2	61.4/10～61.9/26	592.5	61.4/3～62.3/29	
16	集団	船舶技術	ビルマほか9か国	11	61.4/21～61.7/10	211	61.4/11～62.3/29	館外
17	集団	犯罪防止(矯正保護)	ブルネイほか14か国	15	61.5/2～61.6/23	18	61.4/14～61.7/14	館外
18	個・GG	日本語	タイ	2	61.5/6～61.8/8	345	61.5/6～61.8/8	
19	集団	家畜人工授精	チリほか4か国	5	61.5/6～61.7/11	245	61.4/24～61.11/8	
20	個・CP	作物保護	インドネシア	1	61.5/19～61.6/13	100	61.5/15～61.11/30	
21	個・単	中国経営管理	中国	15	61.5/21～61.6/25	130	61.5/18～61.12/22	
22	集団	生活改善普及	インドネシアほか6か国	8	61.6/2～61.6/27	80	61.5/26～61.8/10	6/16から館外
23	個・CP	稲作	パラグアイ	1	61.6/2～61.6/13	50	61.5/30～61.11/3	
24	集団	消防行政	ブラジルほか8か国	10	61.6/2～61.6/18	65	61.5/22～61.8/5	
25	個・CP	日・シ技術学院	シンガポール	3	61.6/2～61.8/29	325	61.5/27～62.2/28	
26	個・CP	職業訓練	ペルー	2	61.6/2～61.8/29	325	61.5/26～62.3/4	
27	個・CP	地下水開発	エチオピア	2	61.6/19～61.7/18	110	61.6/12～61.10/24	
28	個・単	太陽エネルギー研究	中国	1	61.6/19～61.7/18	110	61.6/3～62.3/9	
29	個・CP	職業訓練	ブラジル	2	61.6/19～61.7/11	85	61.6/12～61.11/12	
30	集団	看護管理	メキシコほか3か国	6	61.6/19～61.7/4	60	61.6/12～61.12/14	
31	個・CP	日本・パナマ職業訓練センター	パナマ	3	61.6/19～61.9/19	330	61.6/12～62.3/21	
32	個・CP	防災リハビリテーションセンター	タイ	1	61.6/19～61.9/19	330	61.6/12～62.3/6	
	"	"	"	1	61.6/19～61.9/19	330	61.6/12～61.12/17	

コース番号	コースの種類	研修コース名		ス		日本語研修		全研修期間	備考
		コース名	国名	人数	日本語講習期間	日本語時間数			
33	個・C P	日墨技術教育センター	メキシコ	6	61.6/19~61.8/29	260	61.6/10~61.12/2		
34	個・C P	航海計器	マレーシア	1	61.6/19~61.8/15	210	61.6/12~61.12/23		
35	個・C P	フルセラ病	パラグアイ	1	61.6/19~61.7/31	155	61.6/16~62.5/25		
36	集団	結核対策	ハンガリー、ジュ、ほか18か国	19	61.6/30~61.9/5	38	61.6/16~61.10/17	館外	
37	個・国際	結核対策	ベトナム、ほか1か国	2	61.6/30~61.9/5	38	61.6/22~61.10/17	館外	
38	個・C P	結核対策	北イエメン	1	61.6/30~61.9/5	17	61.6/16~61.12/24	館外	
39	個・C P	⑤ 動物医薬品検定	インドネシア	3	61.7/7~61.9/5	225	61.6/29~62.3/11		
	"	⑥ "	"	1	61.7/7~61.8/8	125	61.6/29~61.12/10		
40	個・C P	造林研究訓練	タイ	1	61.7/7~61.8/15	150	61.7/1~61.9/30		
41	個・C P	臨床検査	パラグアイ	1	61.7/7~61.7/31	95	61.6/26~62.6/25		
42	個・C P	植物病理	ポリビア	1	61.7/7~61.7/18	50	61.6/30~61.9/22		
43	個・C P	獣医ワクチン製造	モーリシャス	1	61.7/7~61.7/18	50	61.6/30~61.12/2		
	個・単	中国経営管理 (再)	中国	(6)	61.7/7~61.7/24	16.5	61.5/18~61.12/22	コース21の補習	
44	個・C P	農業普及関係協力C・P 合同	タイほか4か国	5	61.7/21~61.8/15	100	61.7/14~61.10/24		
45	個・C P	肉類研究・加工技術	中国	3	61.7/21~61.8/15	100	61.7/15~61.11/18		
46	集団	選鉱製錬	ブラジルほか6か国	8	61.7/31~61.10/3	225	61.7/24~62.8/14		
47	個・C P	マイクロコンピュータ	フィリピン	1	61.7/31~61.10/3	225	61.7/24~62.6/29		
48	個・C P	木材生産技術	タイ	1	61.7/31~61.9/12	160	61.7/25~61.11/26		
	"	"	"	1	61.7/31~61.9/12	160	61.7/25~61.11/5		
49	個・C P	畑作	フィリピン	1	61.7/31~61.8/29	110	61.7/25~62.2/3		
50	個・C P	家畜栄養	パラグアイ	1	61.8/4~61.10/3	215	61.7/29~62.6/30		
51	個・C P	ジョセグニアタ農工大、農業工学	ケニア	1	61.8/4~61.9/26	190	61.7/29~62.7/2		
52	個・C P	"	"	1	61.8/4~61.9/26	190	61.7/29~62.7/5		
53	個・C P	"	"	1	61.8/4~61.9/26	190	61.7/29~62.10/3		
54	個・C P	"	"	1	61.8/4~61.9/26	190	61.7/29~62.9/19		
55	個・C P	水産加工技術	中国	1	61.8/4~61.9/5	125	61.7/29~62.2/17		
56	個・C P	魚のすり身加工技術	中国	1	61.8/4~61.9/5	125	61.7/29~62.2/17		
57	集団	補装具製作技術	タイほか2か国	4	61.8/4~61.8/29	100	61.7/28~61.12/17		



コース番号	コースの種類	研究修コース名		国	名数	日本語研修		全研修期間	備考
		コ	ス			日本語練習期間	日本語時間数		
58	個・C.P	薬品品質管理		インドネシア	2	61.8/4～61.8/29	100	61.7/28～62.3/4	
59	個・C.P	ぶどう栽培		ネパール	1	61.8/4～61.8/22	75	61.7/29～62.1/20	
60	個・C.P	マイクローケープル保守		ギニア	3	61.8/18～61.9/26	140	61.8/14～61.12/27	
61	集団	森林造成技術		ビルマほか10か国	13	61.8/25～61.9/5	50	61.8/18～61.11/27	
	"	"		パキスタン	1	61.9/1～61.9/5	25	61.8/18～61.11/27	
62	個・C.P	農業化学		エジプト	1	61.9/1～61.10/3	115	61.8/25～62.9/29	
63	個・C.P	植物分析		ボリビア	1	61.9/4～61.10/3	100	61.8/25～62.9/29	
64	個・C.P	漁業		ミクロネシア	2	61.9/1～61.9/26	90	61.8/26～61.12/10	
	"	"		"	1	61.9/8～61.9/26	65	61.8/26～61.12/10	
65	個・C.P	財政学		韓国	1	61.9/1～61.9/26	90	61.8/26～62.10/3	
66	個・C.P	根粒菌の固学的確認と血清学的研究		フィリピン	1	61.9/8～61.10/3	90	61.9/1～62.6/30	
67	集団	精神薄弱福祉		ビルマほか7か国	10	61.9/8～61.9/30	75	61.8/25～62.3/8	
68	個・C.P	ジョモケニアアッタ農工大食品加工		ケニア	1	61.9/8～61.9/26	65	61.9/2～62.3/28	
69	個・C.P	バス公社経営管理		ブルンジ	1	61.9/8～61.9/26	65	61.8/28～61.12/2	
70	集団	犯罪防止(刑事司法)		スーダンほか13か国	15	61.9/16～61.11/10	18	61.9/1～61.11/30	館外
71	個・C.P	ガーナ大学野口研究所実験動物		ガーナ	1	61.9/16～61.10/17	110	61.9/9～62.9/8	
72	個・C.P	畜産品種改良		ボリビア	1	61.9/22～61.10/24	115	61.9/17～62.6/3	
73	集団	貿易振興セミナー(B)		アルゼンチンほか9か国	11	61.10/6～61.11/7	19	61.9/25～61.11/22	館外
74	個・単	超音波技術		ユーゴスラビア	1	61.10/6～61.11/28	185	61.9/29～62.6/5	
75	個・C.P	薬品品質管理		インドネシア	1	61.10/6～61.11/7	115	61.9/29～62.5/12	
76	集団	結核対策細菌技術		ペルーほか4か国	5	61.10/6～61.10/24	70	61.9/29～62.2/16	
77	個・C.P	"		イエメン	1	61.10/6～61.10/24	70	61.9/29～62.2/16	
78	個・C.P	職業訓練指導員上級技能訓練センター		マレーシア	6	61.10/6～61.12/26	285	61.9/29～62.6/25	
79	集団	専門看護		ネパールほか7か国	8	61.10/6～61.12/26	285	61.9/29～62.7/28	
80	個・G.G	日本語		タイ	2	61.10/20～62.1/16	285	61.10/20～62.1/16	
81	個・C.P	機械工学		フィリピン	1	61.10/20～61.12/23	225	61.10/14～62.10/10	
82	個・C.P	土木工学		フィリピン	1	61.10/20～61.12/4	160	61.10/14～62.10/10	
83	個・C.P	動物研究		フィリピン	1	61.10/20～61.12/4	160	61.10/15～62.10/14	

コース番号	コースの種類	研修コース			日本語研修		全研修期間	備考
		コース名	国	人数	日本語講習期間	日本語時間数		
84	個・単	熱帯病理学	インドネシア	1	61.10/20～61.11/21	120	61.10/13～62.8/26	
85	個・C.P	家畜衛生	パラグアイ	1	61.10/20～61.11/7	70	61.10/16～62.6/30	
86	個・C.P	家畜衛生	パラグアイ	1	61.11/4～62.1/16	235	61.10/30～62.10/20	
87	個・C.P	昆布食品加工技術	中国	1	61.11/4～61.12/3	105	61.10/28～62.4/15	
88	個・C.P	スリジャヤワルダ総合病院医療実践技術	スリランカ	1	61.11/4～61.12/3	105	61.10/27～62.10/26	
89	個・C.P	ブライマリー・ヘルスケア	タイ	1	61.11/4～61.12/3	105	61.10/5～62.3/31	
90	個・C.P	スリジャヤワルダ総合病院内視鏡	スリランカ	1	61.11/4～61.11/28	90	61.10/27～62.4/26	
91	個・C.P	職業訓練	インドネシア	1	61.11/17～62.2/13	285	61.11/13～62.8/5	
92	個・C.P	車輛整備	トーゴ	1	61.11/17～62.1/23	215	61.11/11～62.5/10	
93	個・C.P	金属加工	タイ	1	61.11/17～62.1/26	190	61.11/13～62.8/5	
				1	61.11/17～62.1/26	190	61.11/11～62.5/15	
94	集団	エビ増養殖技術	メキシコほか4か国	6	61.11/28～62.1/30	200	61.11/20～62.8/28	
95	個・C.P	小児集中看護	エジプト	1	61.11/28～61.12/18	75	61.11/22～62.5/20	
96	個・C.P	日・シ技術学院職業訓練	シンガポール	1	61.12/11～62.3/6	275	61.12/4～62.8/31	
97	個・C.P	看護教育	タイ	3	61.12/11～62.2/13	200	61.12/9～62.10/13	
98	個・C.P	臨床検査	パラグアイ	1	61.12/11～62.1/16	105	61.12/3～62.12/2	
99	個・C.P	水道技術訓練	タイ	4	61.12/11～62.1/16	105	61.12/10～62.6/23	
100	個・C.P	特許情報検索	中国	7	61.12/11～61.12/26	60	61.12/3～62.7/31	
101	集団	船舶技術(B)	アルゼンチンほか10か国	11	62.1/13～62.4/10	212	62.1/5～62.12/24	
102	個・C.P	金属加工	タイ	2	62.1/19～62.3/20	220	62.1/13～62.10/8	
103	個・C.P	職業訓練(工作技術)	ペルー	1	62.1/19～62.4/3	255	62.1/12～62.9/30	
104	個・単	食品微生物	ペルー	1	62.1/19～62.2/5	70	62.1/9～62.8/3	
105	個・C.P	図案開発計画	ケニア	2	62.2/2～62.2/21	75	62.1/26～62.10/31	
106	集団	研究開発技術	ブラジルほか5か国	9	62.2/2～62.4/10	205	62.1/26～62.1/24	
107	個・C.P	林業開発(製材及び加工)	パラグアイ	1	62.2/2～62.5/8	205	62.1/26～62.10/27	
108	個・C.P	農業開発(灌漑資源)	パラグアイ	1	62.2/2～62.5/8	205	62.1/29～62.12/15	
109	個・C.P	職業訓練	インドネシア	3	62.2/2～62.5/1	205	62.1/26～62.9/2	
110	個・C.P	稲育種	ペルー	1	62.2/2～62.5/1	205	62.1/26～62.12/19	

コース番号	コースの種類	研修コース			ス		日本語研修		全研修期間	備考
		コース名	国	名	人数	日本語講習期間	日本語時間数			
111	個・CP	野菜生産	インドネシア		1	62.2/2~62.3/27	195	62.1/28~62.9/2		
112	個・CP	農業研究	インドネシア		3	62.2/16~62.4/3	160	62.2/11~62.9/12		
113	個・単	鉱産物検査研究	中国		1	62.2/20~62.5/15	140	62.2/17~62.9/30		
114	個・CP	木林総合利用研究	中国		1	62.3/2~62.4/3	110	62.2/25~62.12/19		
115	個・CP	中日友好病院	中国		9	62.3/2~62.4/3	110	62.2/25~62.8/26		
	"	"	"		6	62.3/2~62.4/3	110	62.2/25~62.8/26		
	"	"	"		5	62.3/2~62.4/3	110	62.2/25~62.8/26		
116	個・単	鉱産物検査研究	中国		1	62.3/9~62.5/15	85	62.3/3~62.9/30		
117	個・CP	金属加工(教育機材)	タイ		1	62.3/9~62.5/8	85	62.3/3~62.7/14		
118	個・CP	スリジャヤワルダ総合病院内視鏡	スリランカ		1	62.3/9~62.4/10	85	62.3/2~62.9/1		
119	特設	魚類生理・防疫	アルゼンチン		5	62.3/9~62.3/18	40	62.3/3~62.6/22		
120	個・CP	昆布乾燥・食品加工	中国		1	62.3/16~62.5/15	60	62.3/10~62.8/26		
121	個・単	鉱産物検査研究	中国		2	62.3/16~62.5/15	60	62.3/10~62.9/30		
122	個・CP	耕地微気象の研究 <small>(三井物産株式会社)</small>	中国		1	62.3/16~62.5/15	60	62.3/10~62.12/23		
123	個・CP	展示会場設計施工( )	"		1	62.3/26~62.4/17	20	62.3/24~62.12/23		
124	個・CP	土質材料( )	"		1	62.3/26~62.4/17	20	62.3/24~62.12/23		
125	個・CP	林業開発	パラグアイ		2	62.3/16~62.5/29	60	62.3/9~62.9/1		
126	個・CP	農業機械	パラグアイ		1	62.3/16~62.5/29	60	62.3/12~62.10/4		
127	個・単	会計検査実務	スリランカ		1	62.3/16~62.5/15	60	62.3/9~62.10/14		
128	個・CP	ブリケット製造と炭化	タンザニア		1	62.3/16~62.4/15	60	62.3/9~62.7/19		
129	個・CP	生化学	コロンビア		1	62.3/16~62.4/10	60	62.3/12~63.4/6		
130	個・CP	養鶏	ビルマ		1	62.3/18~62.4/10	50	62.3/15~62.9/3		
131	個・単	水産経済・経営	メキシコ		1	62.3/16~62.4/10	60	62.3/12~63.3/11		
132	個・CP	小児科中医薬	エジプト		1	62.3/17~62.4/10	55	62.3/15~62.9/23		
133	個・CP	果樹研究植物病理	ウルグアイ		1	62.3/16~62.4/3	60	62.3/9~62.7/15		
合計				合計			合計			
133				406			7,465			
(22)				(58)			(1,440)			

( ) 内の数字は60年度からの継続分を外数である。

表(5) 地域及び国別分布状況

地域別分布

地 域	国 数	%	人 数	%
ア ジ ア	16 ( 7 )	27.1 ( 53.8 )	222 ( 41 )	54.7 ( 70.7 )
中 南 米	18 ( 1 )	30.5 ( 7.7 )	118 ( 5 )	29.0 ( 8.6 )
ア フ リ カ	14 ( 5 )	23.7 ( 38.5 )	38 ( 12 )	9.3 ( 20.7 )
中 近 東	6 ( 0 )	10.2 ( 0 )	15 ( 0 )	3.0 ( 0 )
大 洋 州	4 ( 0 )	6.8 ( 0 )	12 ( 0 )	3.7 ( 0 )
欧 州	1 ( 0 )	1.7 ( 0 )	1 ( 0 )	0.3 ( 0 )
( 合 計 )	59 ( 13 )	100 ( 100 )	406 ( 58 )	100 ( 100 )

( ) 内は前年度からの継続分で外数である。

国 別 分 布

アジア 16ヶ国 222人 (41人)

国 名	人 数	国 名	人 数
中 国	65 (20)	バングラデシュ	6
タ イ	39 (4)	ネ パ ー ル	6 (1)
インドネシア	31 (10)	シンガポール	6
フィリピン	17 (1)	韓 国	5 (1)
マレーシア	15 (4)	イ ン ド	3
ビルマ	9	香 港	3
スリランカ	8	ヴェトナム	1
パキスタン	7	ブルネイ	1

( ) 内は前年度からの継続分で、外数である。

中近東 6ヶ国 15人

国 名	人 数	国 名	人 数
エジプト	7	イ ラ ク	1
イエメン	3	サウディ・アラビア	1
ス ー ダ ン	2	アラブ首長国連邦	1

アフリカ 14ヶ国 38人 (12人)

国名	人数	国名	人数
ケニア	11(2)	セネガル	2(4)
タンザニア	6(1)	ブルンディ	1
エチオピア	3	マラウイ	1
ギニア	3	モーリシアス	1
リベリア	3(3)	ソマリア	1
ガーナ	2	トーゴ	1
ナイジェリア	2	ザンビア	1
中央アフリカ	0(2)	( )内は前年度からの継続分で外数である。	

中南米 18ヶ国 118人 (5人)

国名	人数	国名	人数
メキシコ	32	エクアドル	3
パラグアイ	19(5)	ドミニカ	2
ブラジル	16	ハイティ	2
ペルー	13	ジャマイカ	2
ボリヴィア	8	グレナダ	1
パナマ	5	ニカラグア	1
アルゼンチン	4	スリナム	1
チリ	4	ウルグァイ	1
コロンビア	3	ヴェネズエラ	1

( )内は前年度からの継続分で、外数である。

大洋州 4ヶ国 12人

国名	人数	国名	人数
フィジー	4	ミクロネシア	3
パプアニューギニア	4	トンガ	1

欧州 1ヶ国 1人

国名	人数
ユーゴスラビア	1

表(6) 日本語能力到達目標別分類

到達目標段階		I / A	II / B	III / C	IV / D	計
研修コース数 (パーセント) %	継続	9 (41)	8 (36)	3 (14)	2 (9)	22 (100)
	新規	88 (66.2)	30 (22.5)	11 (8.3)	4 (3.0)	133 (100)
人 数 (パーセント) %	継続	19 (32.8)	11 (18.9)	23 (39.7)	5 (8.6)	58 (100)
	新規	279 (68.7)	75 (18.5)	34 (8.4)	18 (4.4)	406 (100)

注) 到達目標の段階と内容

I/A : 挨拶・通勤・食事等生活の基本的な場での日本語による日常会話ができる。

II/B : 現場実習の場での必要な日本語の指示が理解できる。

III/C : 現場学習の場での日本語による質疑応答ができる。

IV/D : 日本語による講義が理解できる。

表(7) 日本語研修設定クラス数及び人数

① クラス設定数 47クラス (8)    ② 受講研修員数 406人 (58)

1クラス平均数 8.44人 ( )内は継続分

ii 一般講習

表(1) レベル別登録者数

レベル	初 級	中 級	上 級	合 計
クラス数	25 (1)	6	3	34 <sup>クラス</sup> (1)
登録者数	608 (12)	118	85	811人 (12)
参加者数	559 (12)	108	84	751人 (12)

( )内は前年度からの継続分である。

表(2) 日本語一般講習実施一覧表

昭和61年4月1日～昭和62年3月31日

レベル	クラス番号	講習期間	日数	時間数	参加状況(50%以上出席者には参加証書授与)			備考		
					A:登録者数	B:参加者数	C:50%以上出席者数			
初級	24	61. 3. 17～61. 5. 13	23	34.5	12	12	9	75.0%	60年度継続分	
"	1	61. 4. 1～61. 5. 28	32	48	23	19	11	47.8%		
"	2	61. 4. 14～61. 6. 10	32	48	27	26	19	70.3%		
"	3	61. 5. 6～61. 6. 30	32	48	26	19	6	23.0%		
"	4	61. 5. 19～61. 7. 10	32	48	26	22	10	38.4%		
"	5	61. 6. 2～61. 7. 24	32	48	29	23	12	41.3%		
"	6	61. 6. 16～61. 8. 7	32	48	24	21	14	58.3%		
"	7	61. 7. 7～61. 8. 28	32	48	31	29	10	32.2%		
"	8	61. 7. 21～61. 9. 30	32	48	26	24	17	65.3%		
"	9	61. 8. 4～61. 9. 30	32	48	28	26	11	39.2%		
"	10	61. 8. 18～61. 10. 14	32	48	38	38	19	50.0%		
"	11	61. 9. 1～61. 10. 28	32	48	30	29	16	53.3%		
"	12	61. 9. 16～61. 11. 12	32	48	39	39	18	46.1%		
"	13	61. 10. 6～61. 12. 2	32	48	60	53	30	56.6%		
"	14	61. 10. 20～61. 12. 16	32	48	30	28	15	50.0%		
"	15	61. 11. 4～62. 1. 6	32	48	23	23	9	39.1%		
"	16	61. 11. 17～62. 1. 20	32	48	12	12	4	33.3%		
"	17	61. 12. 1～62. 2. 2	32	48	10	8	5	62.5%		
"	18	61. 12. 15～62. 2. 17	32	48	6	6	5	83.3%		
"	19	62. 1. 12～62. 3. 10	32	48	36	35	14	38.8%		
"	20 A	62. 1. 26～62. 3. 23	32	48	52	49	23	43.3%		申込者多数のため2クラスに分けて実施。
"	20 B	62. 1. 26～62. 2. 26	19	28.5		10	2	20.0%		内1回は22クラスと合同
"	21	62. 2. 2～62. 3. 30	32	48	7	7				62年度へ継続
"	22	62. 2. 16～62. 4. 9	26	39	7	7				"
"	23	62. 3. 2～62. 4. 23	18	27	8	7			"	
"	24	62. 3. 16～62. 5. 13	10	15	7	6			"	
小計	25		745 (23)	1117.5 (34.5)	608 (12)	559 (12)	270 (9)	46.0%		

レベル	クラス 番号	講習期間	日数	時間数	参加状況 (50%以上出席者には参加証書授与)			備考
					A:登録者数	B:参加者数	C:50%以上出席 C/A×100%	
中級	1	61.4.1～61.5.28	32	48	23	23	6	26.0%
"	2	61.6.2～61.7.24	32	48	13	10	6	46.0%
"	3	61.8.4～61.9.30	32	48	29	27	10	34.4%
"	4	61.10.6～61.12.2	32	48	9	5	1	11.1%
"	5	61.12.1～62.2.2	32	48	26	25	18	69.2%
"	6	62.2.2～62.3.30	32	48	18	18	10	55.5%
小計	6		192	288	118	108	51	43.2%
上級	1	61.6.2～61.7.24	32	48	24	24	5	20.8%
"	2	61.10.6～61.12.2	32	48	25	25	10	40.0%
"	3	62.2.2～62.3.30	32	48	36	35	20	55.5%
小計	3		96	144	85	84	35	41.1%
合計	34 (1)		1033 (23)	1549.5 (34.5)	811 (12)	751 (12)	355 (9)	45.1%





表(4) 地域及び国別分布状況

地域別分布

地 域	国 数	%	人 数	%
ア ジ ア	18	27.0	531	64.5
中 南 米	19	28.3	169	20.5
ア フ リ カ	15	22.3	65	7.9
中 近 東	8	12.0	38	4.7
大 洋 州	6	8.9	17	2.0
欧 州	1	1.5	3	0.4
合 計	67	100	823	100

国別分布

アジア 18ヶ国 531人

国 名	人数	国 名	人数	国 名	人数	国 名	人数
韓 国	34	フィリピン	30	ネパール	17	モルジブ	3
中 国	133	スリランカ	33	イ ン ド	20	ブータン	1
タ イ	76	パキスタン	18	ブルネイ	1	モンゴル	1
インドネシア	68	シンガポール	28	バングラデシュ	4		
マレーシア	37	ビ ル マ	23	香 港	4		

中近東 8ヶ国 38人

国 名	人数	国 名	人数	国 名	人数	国 名	人数
エジプト	12	サウジアラビア	2	イ ラ ン	5	イ ラ ク	4
トルコ	8	ヨルダン	5	シ リ ア	1	クウェート	1

アフリカ 15ヶ国 65人

ケニア	19	ジンバブエ	1	ガーナ	8	タンザニア	9
シュラレオーネ	1	スーダン	5	リベリヤ	3	エチオピア	4
ルワンダ	1	ナイジェリア	1	スワジランド	1	ザンビア	6
チュニジア	4	レソト	1	ソマリア	1		

中南米 19ヶ国 169人

ブラジル	45	アルゼンチン	13	ホンジュラス	3	ドミニカ	2
メキシコ	28	ウルグアイ	6	ベネズエラ	4	ジャマイカ	1
チリ	8	ペルー	20	エクアドル	2	バハマ	1
パラグアイ	11	パナマ	5	コスタリカ	1	ハイティ	1
ボリビア	9	コロンビア	5	グアテマラ	4		

大洋州 6ヶ国 17人

国名	人数	国名	人数	国名	人数	国名	人数
フィジー	6	バブアニューギニア	5	ソロモン諸島	1	西サモア	3
ミクロネシア	1	クック	1				

欧州 1ヶ国 3人

ユーゴスラビア	3
---------	---

## (8) 日本語教材開発

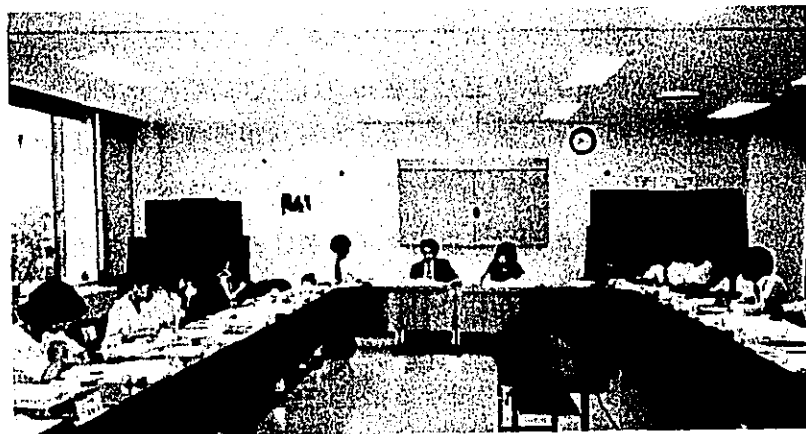
日本語教材開発事業は従来、研修事業部が所掌していたが、本年度より当センターが引継いで実施することとなった。

本年度は本格的な開発事業を開始して4年目にあたり共通テキスト、分野別テキストおよび補助教材等開発の継続的实施に加え、開発教材の普及および日本語研修目標設定から日本語研修終了時の評価までの一貫性をもった実施体制の整備にも重点を置くこととした。

即ち、各研修センター・支部の日本語講師間のコミュニケーションおよび日本語指導法の標準化を促進し、レベルアップを計ること、適切な日本語研修の期間、レベル等を設定するための指針となるガイドラインの作成、日本語研修実施後は研修員の日本語能力を一定の基準で評価するシステムを整備・拡充し、これを受入れ先に通知することなど、JICAにおける日本語研修体制の基盤を確立することに重点をおき、以下の開発事業等について実施した。

本事業の実施にあたっては、研修事業部の基本方針のもと、前年度同様、日本語テキスト編纂専門部会の下記の4名の専門委員の指導を仰ぐとともに、各研修センター・支部の協力を得た。開発の実務は（財）国際協力サービス・センターに委託した。

木村宗男（日本語教育学会 副会長）  
小出詞子（国際基督教大学 教授）  
斎藤修一（慶応義塾大学 教授）  
川瀬生郎（東京大学 教授）



第10回日本語テキスト編纂合同検討会 61.9.18～20

## イ 日本語開発教材

本年度開発又は改訂したテキスト等教材は次の通りである。

日本語教材開発基本計画においては、共通テキスト 1200時間（1年間相当）までの開発を目指しているが、現在のところ、上級レベルの受講者数が余り見込まれないので、取りあえず 800 時間までの開発にとどめ、800 時間を越えるテキストの開発は当面見合わせることにした。

### (i) 上級前期共通テキスト（701～800 H）

中級終了後40時間学習のためテキストを作成した。指導にあたっては、本テキスト併行して専門分野に関する教材も使用する。

### (ii) 分野別テキスト（農業技術系）（201～500 H）

初級 200 時間終了後、500 時間までについて共通テキストと併行して使用する農業技術系テキストを作成した。

現在のところ農業技術分野の研修員の日本語研修期間は 100 時間前後が多く、200 時間以上の受講者は少ないことに鑑み、100 時間終了後からも使用出来るよう配慮した。

### (iii) 中級前期共通テキスト（301～500 H）の改訂

学習者の便をはかるため、中級前期共通テキストの総ルビ化をはかった。

### (iv) 中級前期共通テキスト（301～500 H）教師用手引

### (v) 分野別テキスト（工業技術系）教師用手引

### (vi) 初級共通テキスト用ワードリスト

(1) 第1分冊ローマ字版用フランス語版，マレーシア語版

(2) 第1分冊漢字かな混じり版用フランス語版，マレーシア語版

(3) 第2分冊タイ語版，インドネシア語版，フランス語版，マレーシア語版

※ 第1分冊ローマ字版用タイ語版，インドネシア語版，スペイン語版，第1分冊漢字かな混り版用中国語版，タイ語版，インドネシア語版，スペイン語版及び第2分冊用中国語版，スペイン語は60年度作成済。

### (vii) ビデオ教材（続編）

初級用補助教材として使用するビデオ教材を，60年度に引き続き作成し，今年度において全18ユニットを完成した。

(Ⅷ) 中級後期共通テキスト用（501～700 H）録音テープ

ロ 日本語研修の評価システムの整備・拡充

従来から JICA の統一した日本語研修の評価システムの整備に努めてきたが，今年度は，日本語能力認定試験問題及び実施方法の改訂，日本語研修終了時の評価及び受入機関への研修員の日本語能力通知体制を確立した。

ハ 日本語研修導入のためのガイドラインの作成

技術研修受入機関及び研修員に対するアンケート調査に基づいて各技術研修コースに適した日本語研修内容及び期間を設定するための指針となるガイドラインを作成した。

ニ 日本語指導法の標準化と普及

昭和58年度本事業を開始以来，共通テキスト，分野別テキスト等各種開発されてきた教材は各研修センター・支部において使用されてきたが，今や，日本語指導法に関し JICA 共通の理論的，実践的基礎を共に築く時期にあると思料し，下記の活動を実施した。

(i) ワークショップの開催

東京国際研修センター（10月），八王子国際研修センター（12月），名古屋国際研修センター（62年1月），沖縄国際センター（1月）及び筑波インターナショナルセンター（2月）の5センターにおいて，教材開発担当者，日本語講師，日本語担当職員等の参加を得て，開発教材，日本語研修の現状と問題点，指導法等について発表，討議を行った。また，当センター講師による研究授業は好評であった。

(ii) 「JICA 日本語研修」の創刊

開発した教材の紹介，解説，各種会合の報告，日本語研修実践活動の報告等を掲載した。「JICA 日本語研修」（B5版16ページ200部）を4回発行し，各研修センター・支部の日本語講師をはじめ関係者に配布した。

ホ 日本語教材開発基本計画の整備・調整

教材開発事業開始後4年目にあたる今年度，当初設定された初級から上級に至る共通テキスト，補助教材等の開発に関する理論的枠組及びそれに基づく開

発計画を現状及び今後の見通しに照らし整備・調整した。

へ 日本語テキスト編纂専門部会の開催

前年度に引き続き、教材開発事業の円滑な実施のため毎月1回（第33回～第44回計12回）開催し、本年度開発教材等について検討し具体的方針、内容を定めた。

ト 日本語テキスト編纂合同検討会の開催

各研修センター・支部の日本語講師及び日本語担当者の出席を得て、9月及び62年3月の2回、各2泊3日の日程により教材開発事業に関する説明、開発教材についての使用レポート、各研修センター・支部の現状報告、指導法等についての意見交換、日本語テキスト編纂専門部会部会委員による講演、JICA事業紹介フィルム上映等を実施した。

(9) レクリエーション

研修員の滞日生活をより充実させ、日本に対する理解を深める一助として、また技術研修の習得を容易にする潤滑油として、レクリエーション活動の果たす役割は極めて大きな意味を持つと思われる。

61年度は、開所2年目を迎え、昨年度の経験に鑑み、研修員の要望を出来るだけ取り入れたプログラム内容にすることに努めた。

プログラム内容は イ. スポーツ ロ. 文化 ハ. 娯楽 ニ. 懇親会、交流会、その他等に大きく分けられる。下表は、61年度TICが実施した行事一覧表である。

イ スポーツ

(i) センター体育館講堂の利用

下記のように種目別に利用日を定めたが、研修員の要望も強いバレーボールは週3回とした。

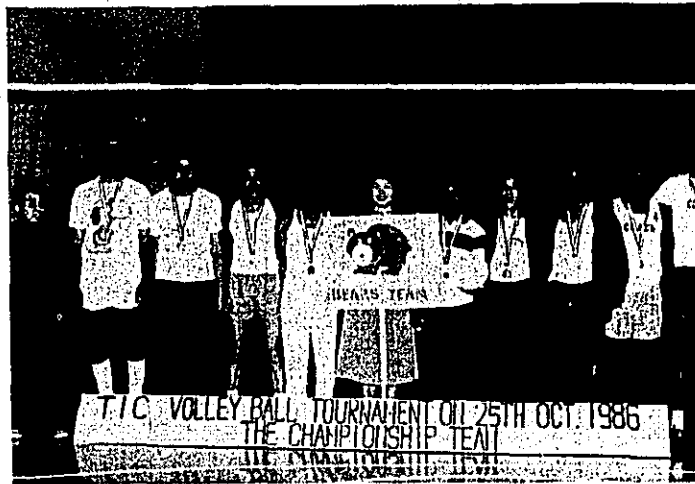
日	バレー・ボール	月	バスケット・ボール
火	バレー・ボール	水	卓球、バドミントン
木	バレー・ボール	金	バスケット・ボール
土	卓球・バドミントン		

ボール等必需品は、体育館内に常備

61年度 TIC 主催行事一覧表

実施日	日時	行 事 名	実 施 場 所	参加人数 (内研修員数)
1	61.4/11 (金)	19:00~21:00 地元住民との懇親会	TIC講堂	576人(270人)
2	61.4/16~5/6	五月節句飾り	" 食堂	
3	61.5/23 (金)	ディスコ・パーティー	" "	397人(330人)
4	61.6/5 (木)	日本人形の戦皇式(三月人形・五月節句飾り) 親歴ライオンズクラブより	" "	127人(100人)
5	61.6/27 (金)	フィロム・ショー「幸福の黄色いハンカチ」	" 講堂	280人(260人)
6	61.7/4~7/8	七夕飾り	" ロビー・フロント	
7	61.8/9 (土)	卓球大会	" 体育館	24人( 21人)
8	61.9/12 (金)	日本の歌の会	" プリーフィングルーム	50人( 40人)
9	61.9/19 (金)	アート・スクール (折紙・ちぎり絵)	" 講堂	120人(100人)
10	61.9/23 (土)	日本料理講習会	幡ヶ谷社会教育館	47人( 27人)
11	61.10/3 (金)	フィロム・ショー「寅さん/夕焼け小焼け」	TIC講堂	250人(230人)
12	61.10/17 (金)	日本武道観賞会 (柔道・剣道・空手・居合道)	" 体育館	250人(220人)
13	61.10/25 (土)	バレエ・ボール大会	" 体育館・アセンブリウム	50人( 44人)
14	61.11/14 (金)	日本芸能観賞会 (日本舞踊・琴・紙切り)	" 講堂	250人(230人)
15	61.11/28 (金)	研修員の夕べ	" 食堂・講堂	350人(330人)
16	61.12/20 (土)	東京ディズニーランド・ツアー	東京ディズニーランド	151人(141人)
17	61.12/26~62.1/9	正月飾り	TICロビーフロント, ラウンジ	
18	62.1/9 (金)	新年親善パーティー	" 食堂, ラウンジ	450人(300人)
19	62.1/16 (金)	ミニミュージックコンサート(出前者研修員, キター・ピアノ・歌)	" プリーフィングルーム	150人(140人)
20	62.1/30 (金)	ディスコ・パーティー	" 食堂	400人(350人)
21	62.2/14 (土)	バレエ・ボール大会	" 体育館・アセンブリウム	43人( 30人)
22	62.2/16~3/4	三月人形飾り	" 食堂	
23	62.2/28 (土)	エスニック料理講習会	神宮前区民会館	36人( 20人)
24	62.3/20 (金)	ディスコ・パーティー	TIC 食堂	310人(280人)





(ii) ドゥ・スポーツ・プラザ施設の利用

T I Cでは実施出来ない水泳，アスレチック，サウナ等の施設を有するドゥ・スポーツ・プラザと契約を交わし，毎月150枚の利用券を希望者に配布した。研修員は，期間内の都合のよい時に利用出来る。

(iii) 卓球大会

61年8月9日（土）トーナメント方式により，参加者24人（内T I C職員3人）。優勝は，Mr. A. Espeleta（フィリピン），2位 Mr. D. Preecha（タイ），3位 Mr. Ken（中国）であった。

(iv) バレーボール大会

61年10月25日（土）及び62年2月14日（土）の2回実施。

研修員グループ，3チームとT I Cスタッフチームの計4人チームが各々，象，熊，牛，ライオンのチーム名のもと，トーナメント方式で実施した。

第1回目は熊チーム，第2回目は，ライオンチームが優勝した。

(v) 日本武道観賞会

61年10月17日（金）日本古来の武術を研修員に広く紹介し，日本の伝統的武道の理解が一層深まるよう下記のように模範演技を披露した。

〈内容〉

〈演技者〉

柔道………東海大学柔道部 朽木淳司氏他7人

空手………日本空手協会 泉屋越三氏他3人

剣道………久明館 久保明氏他8人(少年剣士)

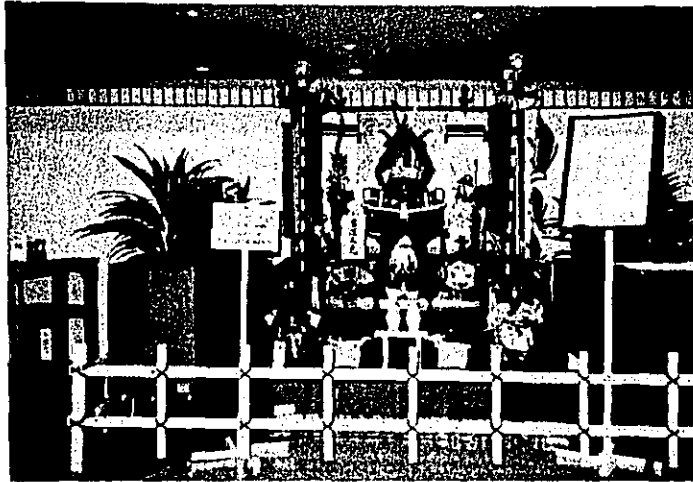
居合道………TIC職員 高荷義信

□ 文 化

(i) 伝統行事の紹介

(1) 五月節句飾り

4月16日から3週間、飾り一式をレンタルにて、食堂内に展示した。

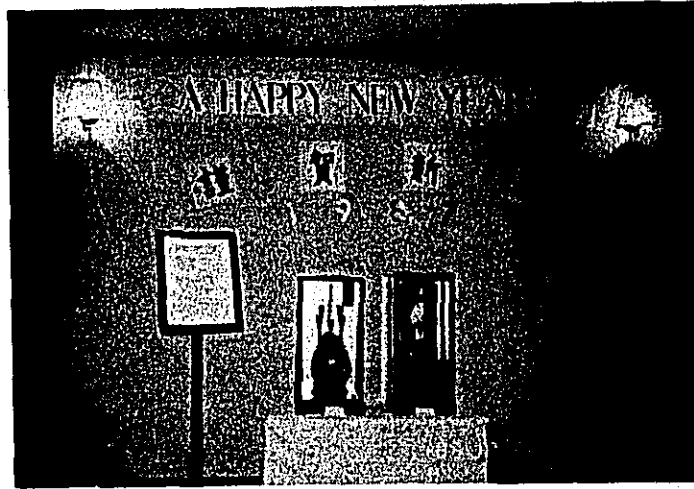


(2) 七夕飾り

7月4日から4日間、笹竹に飾り付けをしてロビー正面に飾った。研修員には、短冊に願いごとを書いて飾りつけるよう呼びかけた。世界平和への願い、日本に対する気持、家族への思い等々多数の短冊がさげられた。

(3) お正月飾り

12月26日から15日間、門松、しめ飾り、おそなえ飾りを玄関に、羽子板、破魔弓、大凧をラウンジに飾った。



(4) 三月ひな人形飾り

62年2月16日から17日間、銀座ライオンズ・クラブより寄贈された七段飾りひな人形を食堂内に展示した。

(ii) アート・スクール

61年9月19日(金)研修員に日本文化紹介の一環として、折り紙とちぎり絵(富士山、朝顔、サルビア)の教室を講堂で開催した。

折り紙は、日本折り紙協会の高浜利恵氏他6人、ちぎり絵は日本ちぎり絵スクールの宮繁和江氏他7人の講師の指導の下で一同楽しみながら日本の思い出を手作りした。

(iii) 料理講習会

渋谷区国際交流婦人の会メンバーの協力を得て、下記のように2回実施した。

(1) 61年9月23日(土)日本料理紹介として、上記婦人の会メンバーが講師となり、簡単で一般的なメニュー、天ぷら、茶わん蒸し、ちらし寿司等を一緒に作って試食した。天ぷらに人気集中した。

(2) 61年2月28日(土)エスニック料理講習会として、研修員を講師に、下記のように行い、食文化の交流を行った。

〈メニュー〉            〈講師〉

a 三鮮餃子            Mr. Guo Xiao Xiong (中国) 企業管理コース

Ms. Sha Rui Min (中国) 企業管理コース

b ガド・ガド Ms. Neng Arniati (インドネシア) 統計コース  
(インドネシア風サラダ) Ms. Evelina Kencana (インドネシア) 薬品品質管理コース

c スリランカ風チキン・カレー, ポテト・カレー

Ms. Nalika Widyapathige (スリランカ) 専門看護コース

Ms. Prabha Gyawali (ネパール) 専門看護コース

(iv) 日本芸能観賞会

61年11月14日(金) 次のようなプログラムを組み日本の古典芸能の一端を紹介した。

〈内容〉	〈出演者〉	〈曲名〉
a. 箏演奏……	吉田信子氏他4人	「さくら」「六段の調」「秋の言の葉」
b. 曲芸……	鏡味小次郎氏	
c. 紙切り……	三遊亭小円雀氏	
d. 日本舞踊……	旭七彦氏他4人	「藤娘」「近江のお兼」「雪の浜町河岸」「東都獅子」



ハ 娯 楽

(i) サタデー・シアター

昨年度までの、ビデオ・シアターをサタデー・シアターと改称して、毎週土曜日の夜7時より約2時間、ブリーフィングルームで日本紹介用フィルム

と、娯楽性の高い外国映画のビデオ・テープを上映した。

上映回数は、56回（内年末年始 4回）。研修員の参加数は平均65人であった。

昨年度の実施実績を参考に、研修員に人気の高い、動きの早いアクション&サスペンス物を中心にプログラムを組んだが、その中で特に好評だったのは“007シリーズ”，“ネバー・エンディング・ストーリー”，“バック・トゥ・ザ・フューチャー”等であった。

(ii) ロード・ショー映画チケットの配布

毎月、ロード・ショー映画数本を選定し、チケットを希望者に配布した。配布数は月平均 220 枚。選定した映画の題名は下記の通り。「ラビリンス」「心みだれて」，「トップガン」等に人気が集めた。

4月 「オズ」，「ファンダンゴ」

5月 「ホワイト・ナイツ」，「ナイルの宝石」

6月 「暴走機関車」，「ロッキー4」，「ホワイト・ナイツ」

7月 「ラビリンス」，「ショート・サーキット」，「子猫物語」

8月 「スペース・キャンプ」，「ラビリンス」，「子猫物語」

9月 「コブラ」，「エイリアン」，「ビバリーヒルズ・バム」

10月 「心みだれて」，「エイリアン2」，「ミスター・レディー，ミスター・マダム」

11月 「ベスト・キッド2」，「F/X」，「ハイランダー」

12月 「トップ・ガン」，「Howard・ザ・ダック」，「殺したい女」

62.1月 「キング・コング」，「ハスラー2」，「マネー・ピット」

2月 「オーバー・ザ・トップ」，「ゴースト・ハンターズ」「モスキート・コースト」，「首都消失」

3月 「スタートレック4」，「クロコダイル・ダンディー」，「ハンナとその姉妹」

(iii) ディスコ・パーティー

本年度は、5月30日、62年1月30日、及び3月20日の計3回実施した。食堂を飾り即席のディスコ会場とした。参加者は5月に397人、1月は400人、3月には310人と人気が高く、気分転換を図る上で効果的なレクリエーション

ンとなっている。

(iv) フィルム・ショー

日本映画の紹介を目的に、35ミリ・フィルムの上映施設を有する講堂にて2回実施した。今年度は日本映画（スーパーインポーズ付）の紹介を計画し、第1回目、61年6月27日（金）「幸福の黄色いハンカチ」、第2回目、10月3日（金）「寅さん/夕焼け小焼け」を上映した。

・日本映画は、英語版が少なく、研修員はほとんど見る機会に恵まれていないため、非常に好評であった。

(v) 日本の歌の会

61年9月12日（金）初めての試みとして、日本の歌を通して、日本語に慣れ、親しむことを目的に実施した。（財）国際協力サービス・センター日本語講師、飯島昭治、垂井佐恵子両氏にお願いした。

曲目は外国にも知られている「上を向いて歩こう」、「幸せなら手をたたこう」、「四季の歌」を選んだ。

(vi) 東京ディズニーランド・ツアー

61年12月20日（土）予めから研修員の要望が強かった、東京ディズニーランド・ツアーを初めて実施した。

12月は在館者の少ない時期であった為、希望者全員151人が参加出来た。朝7時30分TIC発入場後は自由行動とし、多くは閉館近くまで楽しんだとのことである。

(vii) ミニ・コンサート

62年1月16日（金）研修員による研修員のためのミュージック・コンサートとして、研修員が主体になって実施。

アルゼンチンの研修員 Mr. Daniel Vivas（経済開発エコノミスト）の巧みな司会により、下記のように楽器の演奏、歌、踊りとプログラムは進行し、飛入り出演もあつたりで、予定時間を大巾に超過した。

会場のブリーフィング・ルームは、約150人の参加者で立錫の余地がない程の盛況であった。



1. ギター演奏による歌

“ Mexico Lindo ”, “ Cielito Lindo ” 他

Mr. Porfirio Alvarez, Mr. Alejandro Diaz (メキシコ) (えび養殖)

2. ピアノ演奏

“ Dance in Bulgarian ”, “ 日本の歌 ” メドレー他

Ms. Fock Siew -Lan (シンガポール) (精神薄弱福祉)

3. 歌と踊り

“ 幸せなら手をたたこう ”, “ Shoemaker's Dance ” 他

精神薄弱福祉コース研修員 10人

4. ピアノ演奏

ルンバ, ポルカ等ポピュラー曲

Ms. Miryam Moran (パラグアイ) (寄生虫学)

5. 歌

“ セネガルの歌 ”

Mr. Papa Bo Diallo (セネガル) (日本語・職業訓練)

## 6. 歌

“スリランカの歌”

Ms. Nalika Widyapathige (スリランカ) (専門看護)

### (vii) ビデオ・テープ等の貸出し

T I C内施設(オーディオルーム, ビデオルーム)における視聴用として希望者に対し, 娯楽映画のビデオ・テープ及びミュージック用品(テープ, C.D)の貸出しを行った。

## ニ 懇親会・交流会

### (i) 地元住民との懇親会

61年4月11日(金)地元住民をT I Cに招いて研修員との交流を深めるとともに地元住民の国際協力に対する理解を深めることを目的として懇親会を開催した。

地元住民には, 町会を通じてビラの配布, ポスターの掲示等により広報し希望者全員を受入れることとしたところ, 全体で600人近い参加者となり, 講堂, 前庭, 一部ラウンジを使った会場も満員の盛況となった。研修員と地元住民との交流, 更に地元住民には従前から親しみのある桜を観ていただくとともに館内の様子を知っていただくことによりT I Cに対する理解を深めていただけたものと期待している。

### (ii) 研修員の夕べ

61年11月28日(金)食堂での歓談後, 講堂において, 下記のプログラムにより12ヶ国約84人の研修員が, 国別に自国のお国自慢の歌, 踊りを紹介し, 研修員相互の文化交流を行った。

1. スリランカ(4人)歌 “Dampatin” “Hela Jathika”
2. ペル - (3人)歌 “Alma Corazón y Vida” 他
3. インドネシア(6人)歌 “Kelono Topeng” 他
4. ネパール(1人)踊り “Makhamali Cholo” 他
5. セネガル(8人)歌と踊り “Bolo Ligey” 他
6. フィリピン(15人)踊り “Pandango Sa Ilaw” 他
7. ケニア(3人)歌 “Karibu Kenya” 他
8. コロンビア(7人)歌 “Pueblito Viejo” 他



9. マレーシア (16人) 歌と踊り “ Tanah Pusaka ”
10. 中 国 (2人) 歌 “ 中国西部の民謡 ” 他
11. メ キ シ コ (2人) 踊り “ Jarabe Tapatio ”
12. タ イ (12人) 踊り “ Rum Wong ” 他

なお、年末に実施される恒例の総裁主催、国際親善パーティーが61年12月5日にホテル・ニューオータニで開催されたが、研修員のアトラクションに上記プログラムより、インドネシア・セネガル・フィリピン・コロンビア・マレーシア・タイのグループが出演した。

(iii) 新年親善パーティー

62年1月9日(金) TIC開所2年目の新春を迎え、研修員と日頃当センターの事業に協力していただいている日本人関係者を合せ約450人の参加を得て、新しい年の門出を祝福し、かつ親睦を深めた。

ホ ライブラリー

(i) 図書、雑誌類の閲覧

日本関係の書籍及び各種雑誌は図書室で閲覧出来るが、希望者には、フロントを通じて貸出しを行った。

(ii) 日本関係ビデオ・テープ

日本関係のビデオ・テープ(主に英語、1部仏語、西語、中国語、インドネシア語、アラビア語)約160本を希望者にフロントを通じ、貸出しを行った。

ヘ TICインフォメーション・リーフの発行

在京研修員を対象として、TICの活動、日本の習慣、行事等研修員の滞日生活に必要かつ有益と思われる情報提供を目的として、毎月1回発行し、配布した。発行部数は、在京研修員の数により変動するが、平均月1,000部。

ト 外部団体の招待等

外部団体の招待で、当センターの研修員が参加した主な行事は、次表のとおりである。これらの他にも数多くの団体からの招待があり、多くの研修員が参加し日本理解に役立ったものと思料される。

外部団体招待による参加行事

大来佐武郎宅

	行事名	実施日時	実施場所	主催者	参加研 修員数
1	ホーム・ビジット	61. 4. 6 (日) 12:00~15:00	大来様宅 (小石川)	SRID 婦人クラブ	11人
2	"	4.26 (土) 18:00~20:00	中西様宅 (高島平)	"	2人
3	"	5.18 (日) 13:30~15:30	宮田様宅 (四ツ谷)	"	5人
4	西原小学校運動会	5.25 (日) 8:40~15:00	西原小学校々庭	西原小学校	5人
5	サッカー親善試合	6. 8 (日) 13:00~18:00	安田信託銀行 武蔵境グラウンド	JICA サッカー部	約30人
6	ホーム・ビジット	6.28 (土) 16:00~19:00	江崎様宅	SRID 婦人クラブ	7人
7	"	7.12 (土) 16:00~19:00	三上様宅	"	5人
8	麩川神社祭礼	9. 7 (日) 12:00~	麩川神社, 茗荷谷	久堅西町会	9人
9	西原町会祭礼	9.23 (火) 11:00~	西原商店街	西原町会	均100人
10	西原町運動会	10.10 (金) 10:00~16:00	西原小学校々庭	"	52人
11	ホーム・ビジット	10.19 (日) 15:00~17:00	神田様宅 (町屋)	SRID 婦人クラブ	5人
12	よこはま青年の集い	11.2 (日)14:00 ~11.3 (月)15:00	野島青少年研修センター	横浜市青年団体 連絡協議会	5人
13	生花ショー	11.22 (土) 13:00~15:30	渋谷区消費者センター	渋谷区国際交流 婦人の会	20人
14	ホーム・ビジット	11.24 (月) 13:00~15:00	清水様方 (桜新町)	SRID 婦人クラブ	5人
15	"	12.13 (土) 16:00~19:00	江崎様宅 (深沢)	"	6人
16	"	62. 1.18 (日) 12:00~15:00	安蔵様宅 石川様宅	三井銀行・新宿新 都心支店	2人 2人
17	"	1.25 (日) 14:00~15:00	蓮見様宅 (町田)	SRID 婦人クラブ	4人
18	"	2.15 (日) 16:00~18:00	小林様宅 (溝口)	"	5人
19	琴演奏会	3. 1 (日) 11:00~	国立劇場	生田流盈和会	23人
20	ホーム・ビジット	3.22 (日) 16:00~19:00	江崎様宅 (深沢)	SRID 婦人クラブ	9人

(10) 昭和61年度収支予算実績

(千円)

科 目	金 額	備 考
( 収 入 )	( 454,647 )	※ 収入増 52,834 千円本部振替
(款) 施 設 利 用 収 入	454,074	※ 内訳は下図参照
(款) 雑 収 入	573	
( 支 出 )	1,165,345	
(款) 海 外 技 術 協 力 事 業 費	750,150	
(款) 管 理 費	13,382	
(款) 施 設 運 営 費	401,813	

※ 収入 454647 千円より施設運営費 401,813 千円支出し 52,834 千円本部に収入振替済

※ 施設利用収入の内訳

